

令和 2 年度

**自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に関する加入状況調査
報告書**

令和 3 年 4 月

東京都都民安全推進本部
総合推進部交通安全課

目次

調査概要	1
------	---

I. 自転車利用者に対する調査

▷ 居住地	2
▷ 性別・年代	3
▷ 職業	3
▷ 自転車の所有台数	3
1. あなたはどのくらいの頻度で自転車を利用しますか。	4
2. あなたが普段利用している自転車をすべて教えてください。	5
3. あなたは主にどのような目的で自転車を利用していますか。	7
4. 最近3年間で、あなたが自転車に乗っている時、歩行者に接触や衝突した、 あるいは接触や衝突しそうになった経験がありますか。	9
5. 最近3年間で、あなたが歩道を歩いている時、自転車に接触や衝突された、 あるいは接触や衝突されそうになった経験がありますか。	10
6. あなたは自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入することについてどう思いますか。	11
7. あなたは東京都自転車条例が改正され、令和2年4月から、自転車利用中の 対人賠償事故に備える保険等への加入が義務付けられたことを知っていますか。	12
8. あなたは東京都自転車条例が改正されたことや、保険等への加入が義務付けられたことをどこで知りましたか。	13
9. あなたは自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入していますか？	15
10. あなたが加入している自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等の種類を教えてください。	16
11. あなたが自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入したきっかけは何ですか。	18
12. あなたが自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入していない理由を教えてください。	20
13. あなたは自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等への加入を検討していますか。	22
14. あなたは自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等への加入率の向上に必要なことは何だと思えますか。	24
15. あなたは自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等の情報をどこから得ていますか。	26
16. あなたは自転車の点検整備をしていますか。	28
17. あなたは自転車事故を減らすために何が必要だと思えますか。	29
18. 新型コロナ流行後、自転車の利用頻度に変化がありましたか。	31
19. 新型コロナ流行後、自転車の利用頻度が増えた理由を教えてください。	32
20. 新型コロナ流行後、自転車の利用距離に変化がありましたか。	34
21. 新型コロナ流行後、自転車の利用距離が伸びた理由を教えてください。	35
22. あなたは自転車の安全利用に関する情報をどこから得ていますか。	37
23. 都内の自転車の安全で適正な利用について、あなたの意見を自由にお書きください。	39

調査目的 東京都では、東京都内における自転車乗用中の安全利用を一層推進するため、令和元年度に東京都自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例（以下「東京都自転車条例」という。）を改正し、令和2年4月1日から自転車利用者や自転車使用事業者、自転車貸付事業者などに対して自転車損害賠償保険等への加入を義務付けた。そこで、改正東京都自転車条例施行から約一年後の東京都内の自転車利用者の自転車損害賠償保険等への加入率等を把握するため、加入状況調査を実施した。

調査対象	都内在住の20歳以上の自転車利用者
調査実施期間	令和3年2月19日(金)～3月1日(月)
調査方法	インターネットモニターを対象としたWebアンケート調査
有効回答数	1,000件

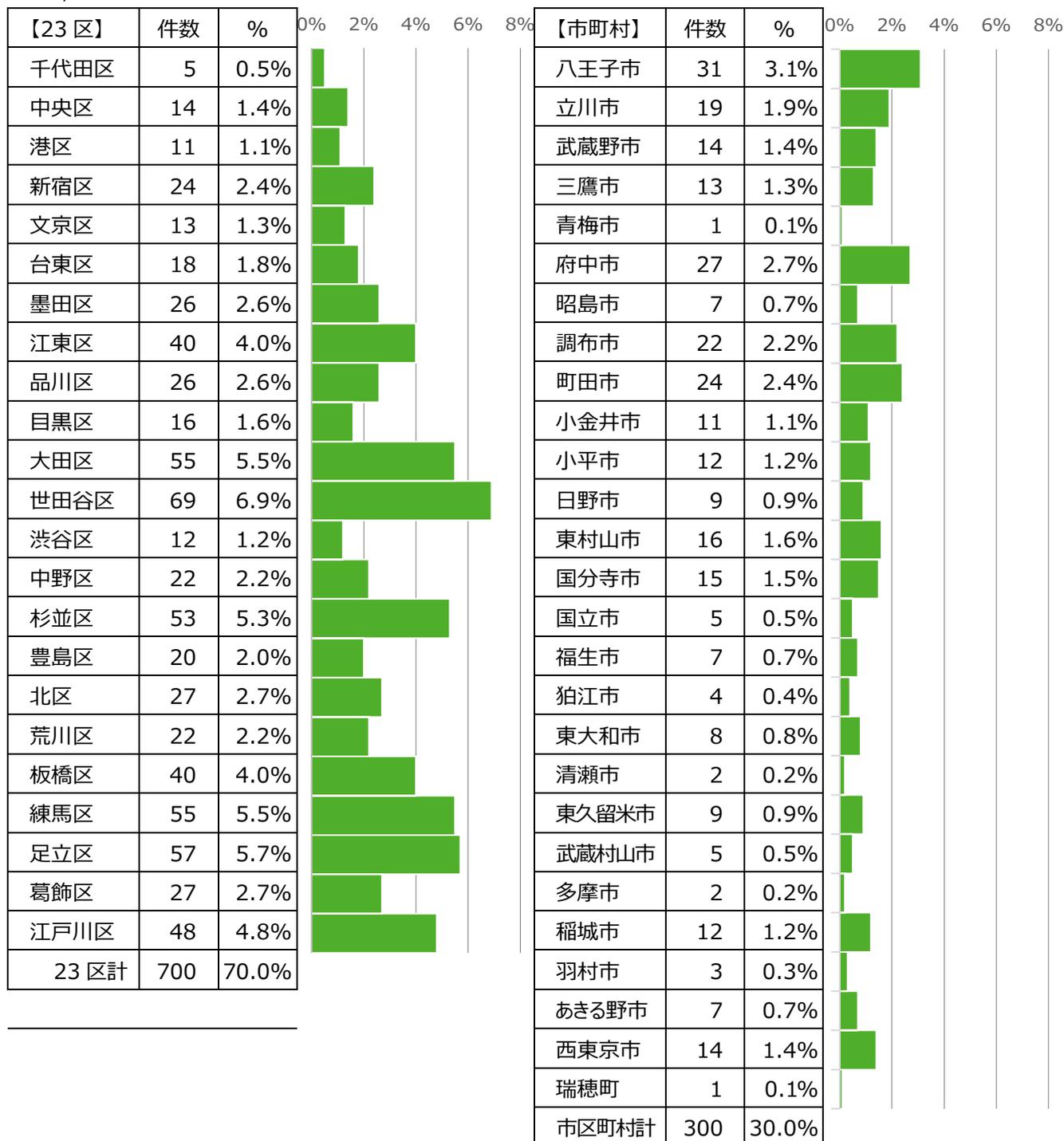
— 調査結果の見方 —

- ①基数となるべき実数（分母）は「n」として表記し、各回答率（%）は「n」を100%として算出している。
- ②回答率（%）は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。
グラフ中の「0.0」は回答の比率が0.1未満であることを表し、「-」の場合は回答が皆無であることを表している。
- ③2つ以上の選択肢を選ぶことのできる設問（複数回答）の場合、回答率（%）の合計が100%を超えることがある。
- ④回答者を限定する設問では、該当選択肢の回答者数を基数（= n）として算出している。

自転車利用者に対する調査

▶ 居住地域

n=1,000



※「23区計」と「市町村計」の比率は、東京都の地域別人口を参考に割付を行っている。

自転車利用者に対する調査

▶ 性別・年代

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
男性	80	100	110	90	70	50	500
女性	80	100	110	90	70	50	500
合計	160	200	220	180	140	100	1,000

※年代は、東京都の年代別人口を参考に割付を行っている。

▶ 職業

n=1,000	件数	%	
会社員・公務員・団体職員 (役員等を含む)	436	43.6%	
パート・アルバイト・契約・嘱託・派遣等	184	18.4%	
自営業・自由業	74	7.4%	
専業主婦 (専業主夫)	165	16.5%	
学生	33	3.3%	
無職 (年金生活者を含む)	101	10.1%	
その他	7	0.7%	

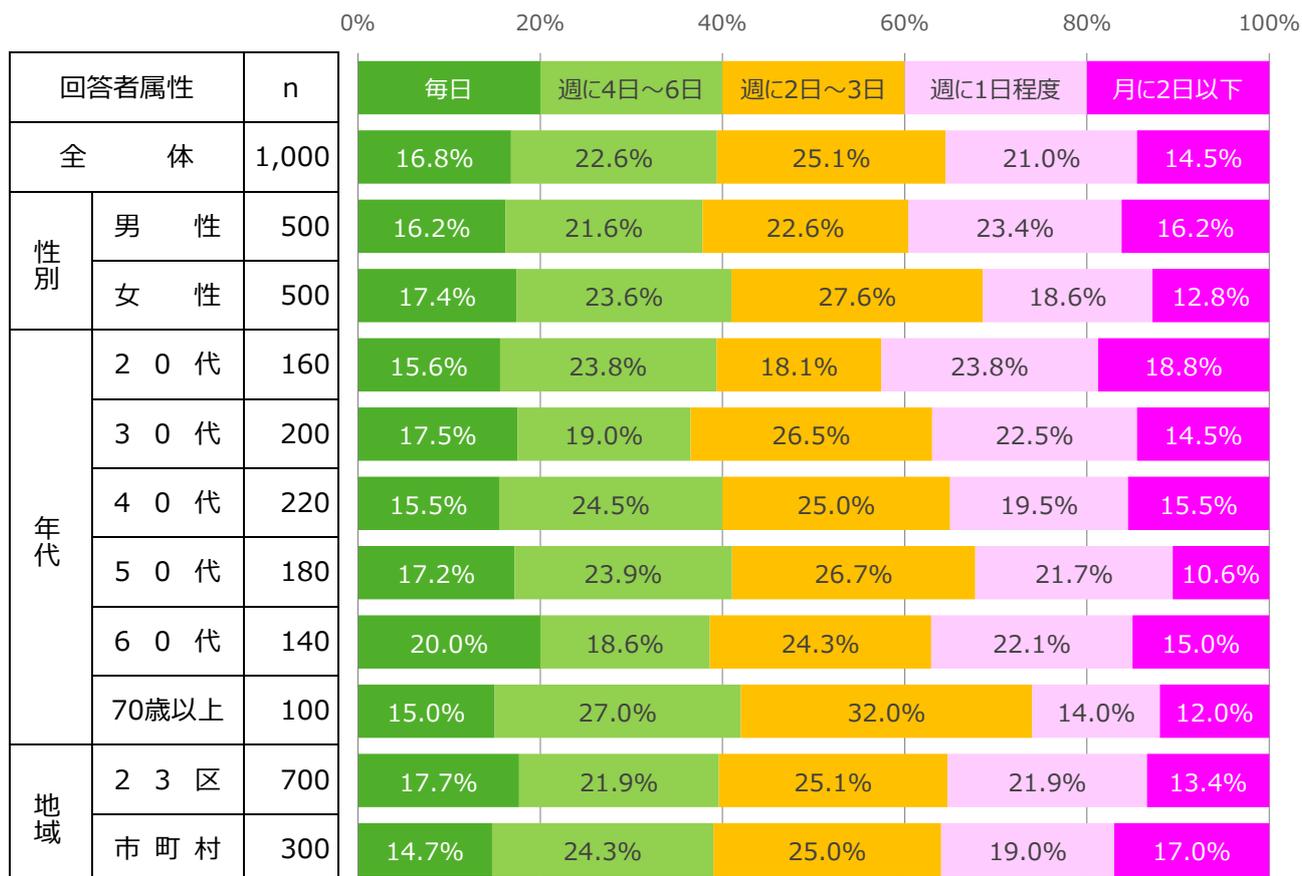
▶ 自転車の所有台数

n=1,000	件数	%	
0台	135	13.5%	
1台	444	44.4%	
2台	232	23.2%	
3台	105	10.5%	
4台	62	6.2%	
5台	18	1.8%	
6台	2	0.2%	
7台	2	0.2%	

自転車利用者に対する調査

1. あなたはどのくらいの頻度で自転車を利用しますか。

自転車利用の頻度については、「毎日」「週に4日～6日」でほぼ毎日自転車を利用している人は39.4%であった。男性では37.8%、女性では41.0%と女性のほうがやや高く、年代別にみると40代(40.0%)、50代(41.1%)、70代(42.0%)で4割以上となっている。



自転車利用者に対する調査

2. あなたが普段利用している自転車をすべて教えてください。（複数回答）

普段利用している自転車については、「シティ・サイクル」が71.9%と最も高く、次いで「電動アシスト付きタイプの自転車」が17.5%、「ロードバイク等スポーツタイプの自転車」が10.8%と続く。

【全体】

n=1,000	件数	%	0%	20%	40%	60%	80%				
シティ・サイクル (日常の通勤・通学・買い物に主として用いられているもの)	719	71.9%									
幼児同乗用自転車 (電動アシスト付きタイプを含む)	74	7.4%									
電動アシスト付きタイプの自転車 (幼児同乗用自転車を除く)	175	17.5%									
ロードバイク等スポーツタイプの自転車	108	10.8%									
小径タイプ/折りたたみタイプの自転車	59	5.9%									
シェアサイクル・レンタサイクル	19	1.9%									
その他	5	0.5%									

自転車利用者に対する調査

2. あなたが普段利用している自転車をすべて教えてください。(複数回答)

普段利用している自転車について性・年代別にみると、「シティ・サイクル」では男性が 68.6%、女性が 75.2%と女性の方が高く、年代別では 50 代が 77.2%で最も高い。

「幼児同乗用自転車」では 30 代が 18.0%、「電動アシスト付きタイプの自転車」では 70 歳以上が 23.0%で、それぞれ最も高い。

「ロードバイク等スポーツタイプの自転車」では男性が 18.4%と女性(3.2%)より 15.2 ポイント高くなっている。

【属性別】

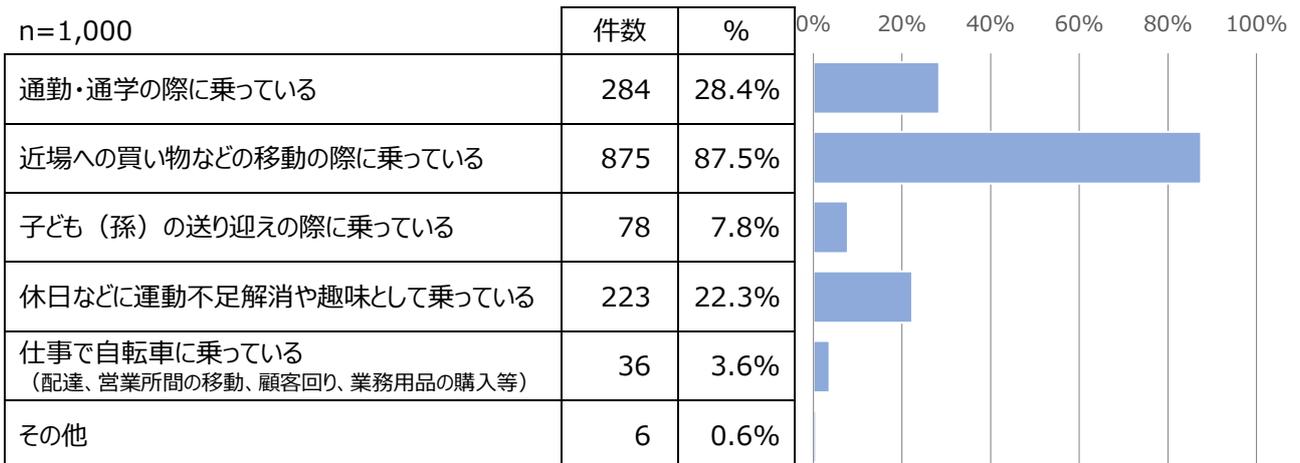
回答者属性	全体	性別		年代						地域	
		男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	23区	市町村
n	1,000	500	500	160	200	220	180	140	100	700	300
シティ・サイクル (日常の通勤・通学・買い物に主として用いられているもの)	71.9%	68.6%	75.2%	73.8%	69.5%	65.9%	77.2%	75.0%	73.0%	71.9%	72.0%
幼児同乗用自転車 (電動アシスト付きタイプを含む)	7.4%	4.4%	10.4%	5.0%	18.0%	10.5%	3.3%	0.7%	—	7.4%	7.3%
電動アシスト付きタイプの自転車 (幼児同乗用自転車を除く)	17.5%	19.0%	16.0%	14.4%	14.5%	19.1%	17.8%	18.6%	23.0%	18.1%	16.0%
ロードバイク等 スポーツタイプの自転車	10.8%	18.4%	3.2%	15.0%	11.5%	11.8%	6.7%	9.3%	10.0%	11.3%	9.7%
小径タイプ／折りたたみタイプの自転車	5.9%	7.6%	4.2%	6.9%	5.0%	6.8%	6.1%	5.7%	4.0%	6.6%	4.3%
シェアサイクル・レンタサイクル	1.9%	2.4%	1.4%	5.0%	2.5%	1.8%	1.1%	—	—	1.9%	2.0%
その他	0.5%	0.6%	0.4%	—	0.5%	0.9%	0.6%	0.7%	—	0.4%	0.7%

自転車利用者に対する調査

3. あなたは主にどのような目的で自転車を利用していますか。（複数回答）

自転車利用の主な目的については、「近場への買い物などの移動の際に乗っている」が最も高く、87.5%。次いで、「通勤・通学の際に乗っている」が 28.4%、「休日などに運動不足解消や趣味として乗っている」が 22.3%と続く。

【全体】



▷ 「その他」の内容

(6件)

時々通院時に利用する	1
休日の移動の時に使っている	1
旅行先での近場の移動に使用（折り畳み自転車を車載）	1
ボランティア	1
子供の学校へ行く時や、たまに駅に行く時	1
ジム通い	1

自転車利用者に対する調査

3. あなたは主にどのような目的で自転車を利用していますか。（複数回答）

自転車利用の主な目的について性・年代別にみると、「通勤・通学の際に乗っている」では 20 代が 45.6%と全体より 17.2 ポイント高い。「子ども(孫)の送り迎えの際に乗っている」では 30 代(20.5%)が全体より 5.0 ポイント以上高い。

また、「休日などに運動不足解消や趣味として乗っている」では男性が 29.6%で、女性(15.0%)の約 2 倍。

【属性別】

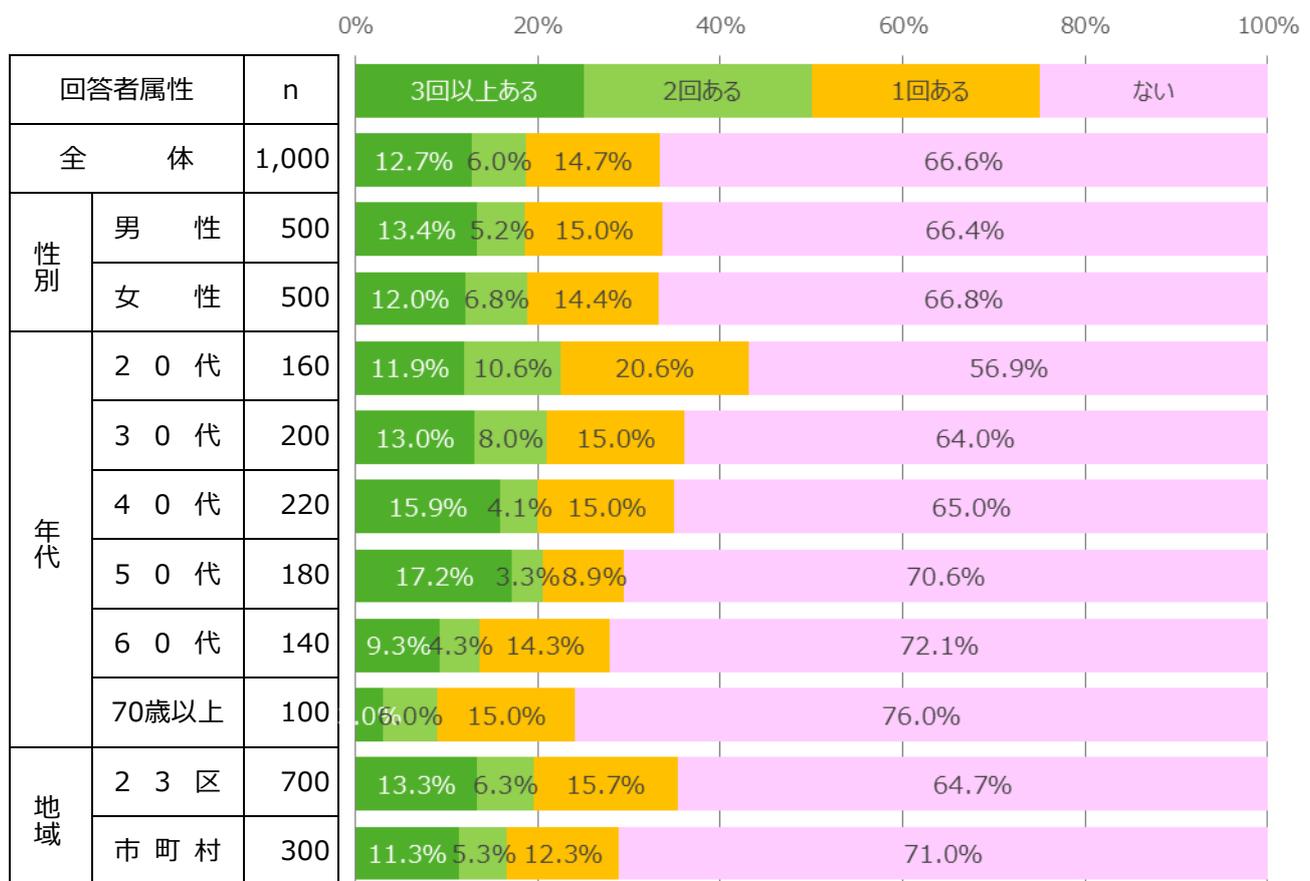
回答者属性	全体	性別		年代						地域	
		男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	23区	市町村
n	1,000	500	500	160	200	220	180	140	100	700	300
通勤・通学の際に乗っている	28.4%	32.4%	24.4%	45.6%	32.0%	28.2%	29.4%	16.4%	9.0%	28.6%	28.0%
近場への買い物などの移動の際に乗っている	87.5%	85.4%	89.6%	73.1%	86.0%	93.2%	89.4%	91.4%	92.0%	87.6%	87.3%
子ども(孫)の送り迎えの際に乗っている	7.8%	4.6%	11.0%	5.0%	20.5%	10.9%	1.1%	1.4%	1.0%	8.4%	6.3%
休日などに運動不足解消や趣味として乗っている	22.3%	29.6%	15.0%	16.9%	30.5%	23.6%	17.8%	19.3%	24.0%	22.4%	22.0%
仕事で自転車に乗っている (配達、営業所間の移動、顧客回り、業務用品の購入等)	3.6%	4.6%	2.6%	5.0%	4.5%	4.5%	2.8%	2.1%	1.0%	4.1%	2.3%
その他	0.6%	0.2%	1.0%	—	0.5%	—	0.6%	0.7%	3.0%	0.3%	1.3%

自転車利用者に対する調査

4. 最近3年間で、あなたが自転車に乗っている時、歩行者に接触や衝突した、あるいは接触や衝突しそうになった経験がありますか。

最近3年間で、歩行者に接触や衝突した、あるいは接触や衝突しそうになった経験について年代別にみると、「3回以上ある」では50代が17.2%と最も高い。

一方、「3回以上ある」「2回ある」「1回ある」を合わせると、20代が43.1%と最も高く、次いで30代が36.0%と続く。地域別では23区が35.3%、市町村が28.9%で23区のほうが6.4ポイント高い。

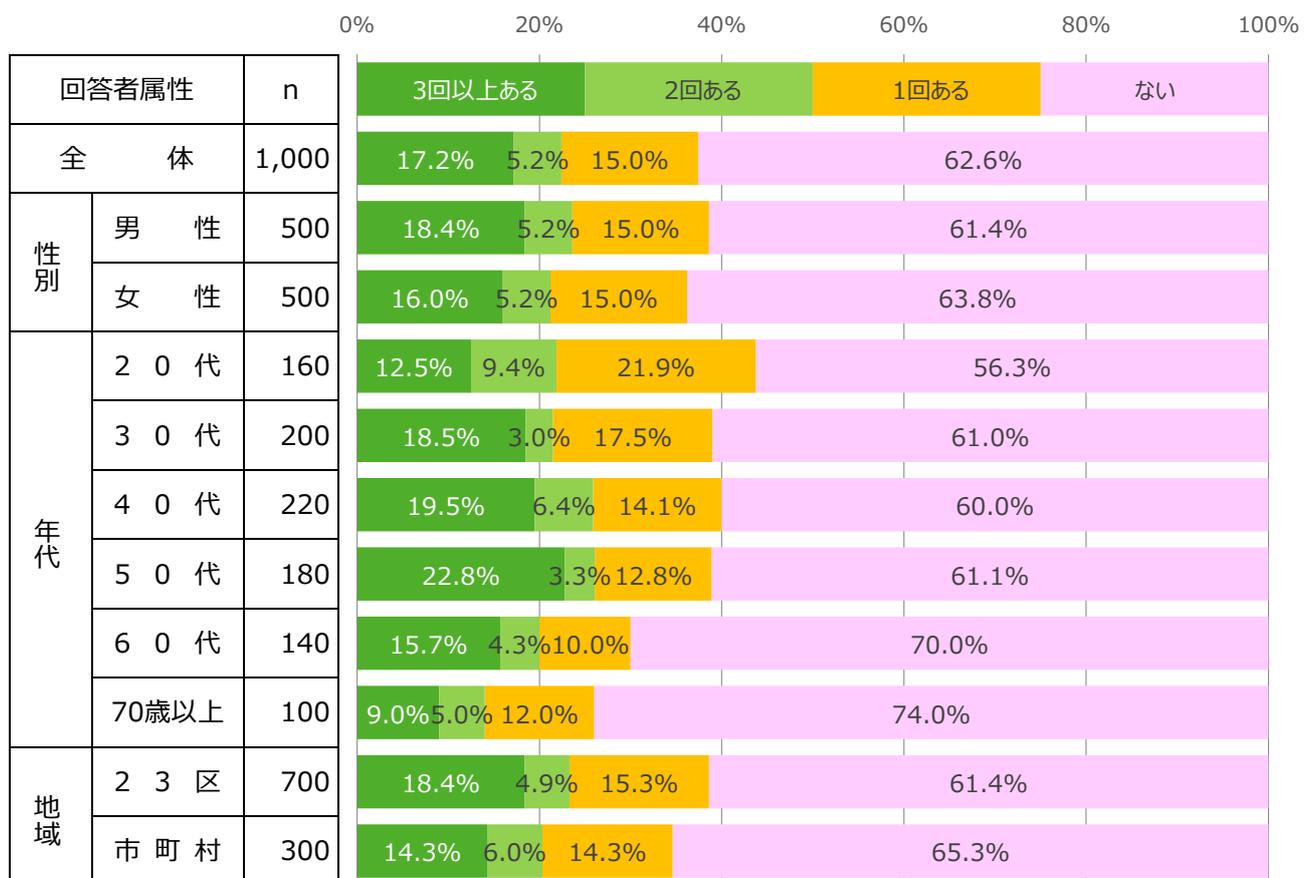


自転車利用者に対する調査

5. 最近3年間で、あなたが歩道を歩いている時、自転車に接触や衝突した、あるいは接触や衝突しそうになった経験がありますか。

最近3年間で、歩道を歩いている時、自転車に接触や衝突された、あるいは接触や衝突されそうになった経験について、年代別にみると、「3回以上ある」では50代が22.8%と最も高い。

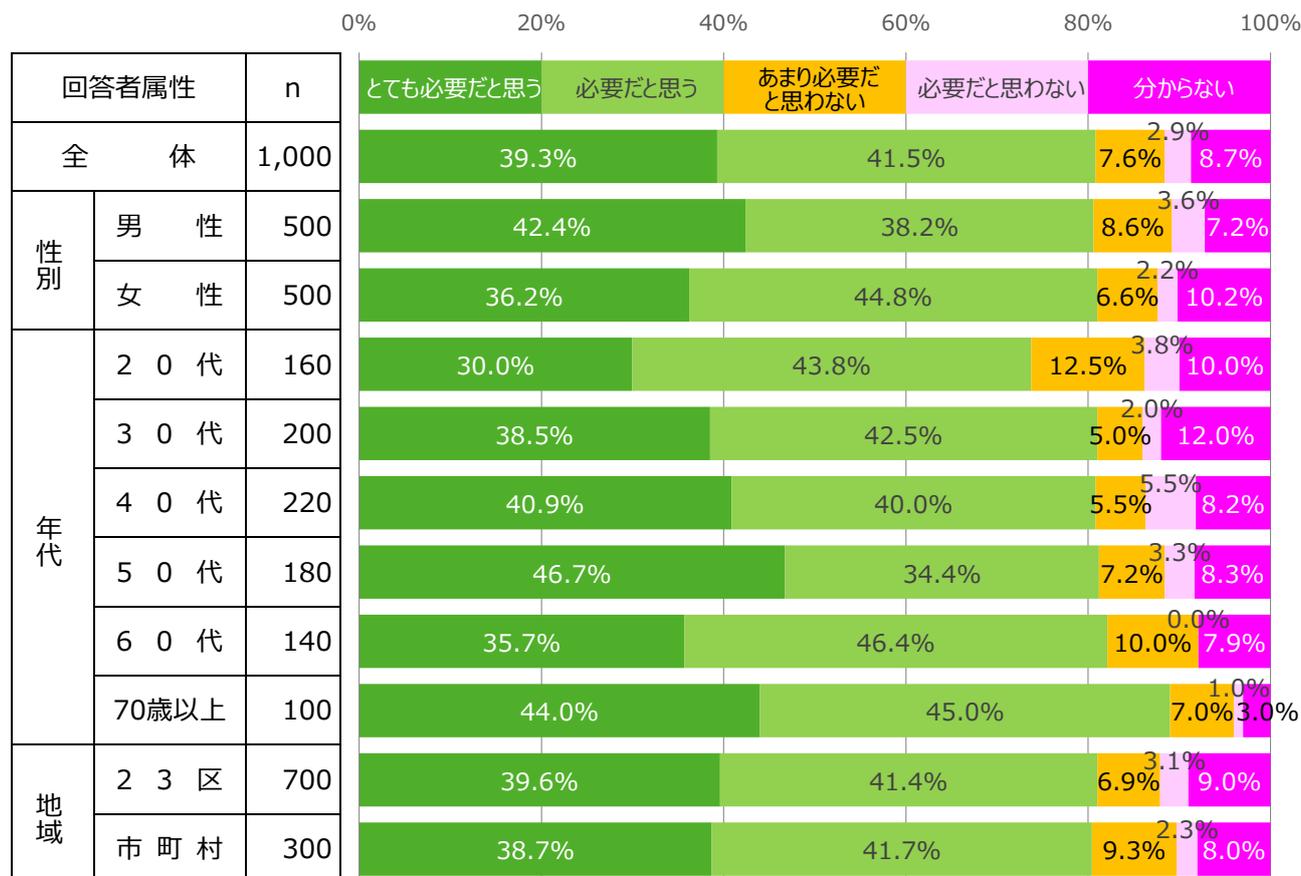
「3回以上ある」「2回ある」「1回ある」を合わせると、70歳以上を除く全ての年代が30.0%を上回った。



自転車利用者に対する調査

6. あなたは自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入することについてどう思いますか。

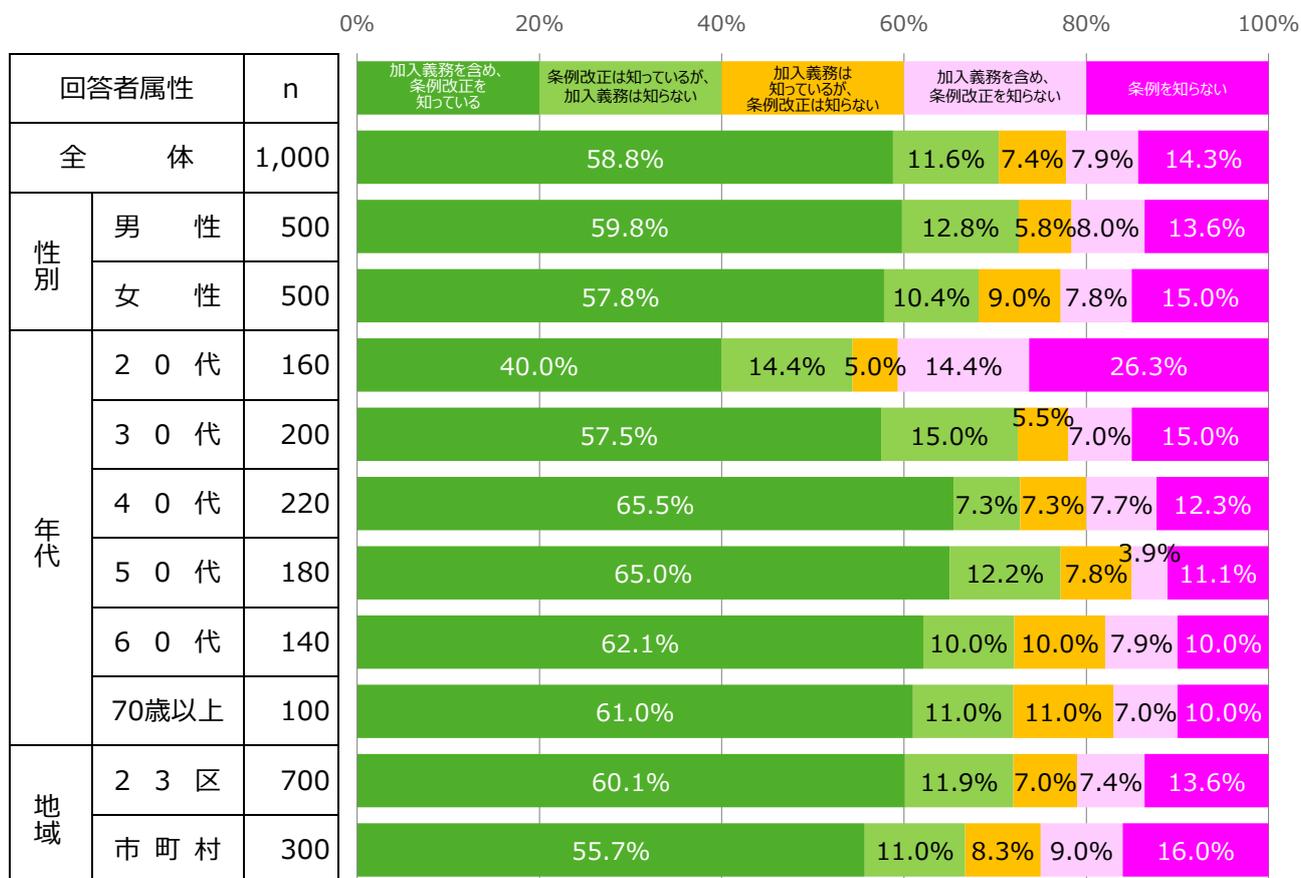
自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入することについて、「とても必要だと思う」では男性が42.4%、女性が36.2%と男性の方が6.2ポイント高い。年代別にみると50代が46.7%で最も高い。「とても必要だと思う」「必要だと思う」を合わせて年代別でみると、20代を除く全ての年代8割を上回った。



自転車利用者に対する調査

7. あなたは「東京都自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」（以下「東京都自転車条例」）が改正され、令和2年4月から、自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等への加入が義務付けられたことを知っていますか。

「東京都自転車条例」改正と保険等への加入義務の認知について、全体では「加入義務を含め、条例改正を知っている」は58.8%であった。年代別にみると、40代(65.5%)、50代(65.0%)の認知度が高い。一方、「加入義務を含め、条例改正を知らない」「条例を知らない」を合わせると、全体では22.2%であった。年代別にみると、20代が40.7%と特に高くなっている。

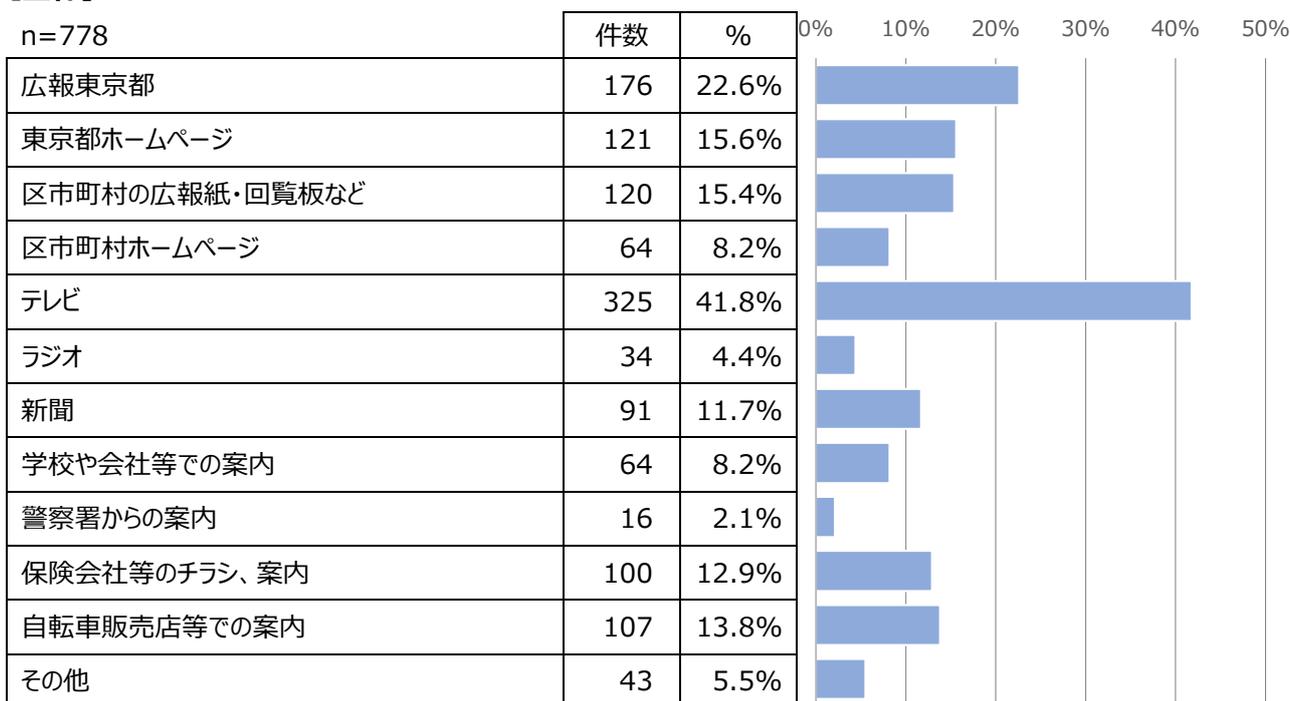


自転車利用者に対する調査

8. あなたは東京都自転車条例が改正されたことや、保険等への加入が義務付けられたことをどこで知りましたか。（複数回答）

東京都自転車条例の改正や保険等への加入義務の認知媒体については、「テレビ」が41.8%と最も高く、次いで「広報東京都」22.6%、「東京都ホームページ」15.6%、「区市町村の広報紙・回覧板など」15.4%、「自転車販売店等での案内」13.8%、「保険会社等のチラシ、案内」が12.9%と続く。

【全体】



※7.「保険等への加入が義務付けられたことを含め、条例改正されたことを知っている」「条例が改正されたことは知っているが、保険等への加入が義務付けられたことは知らない」「保険等への加入が義務付けられたことは知っているが、条例が改正されたことは知らない」の回答者(n=778)が対象

▷ 「その他」の内容

(43件)

家族・友人などからの口コミ	14
ネットニュースやSNSで	11
コンビニのポスター	6
保険会社から	3
駐輪場の貼り紙	1
教習所で	1
覚えていない	6

自転車利用者に対する調査

8. あなたは東京都自転車条例が改正されたことや、保険等への加入が義務付けられたことをどこで知りましたか。(複数回答)

東京都自転車条例の改正や保険等への加入義務の認知媒体について、全体で最も高い「テレビ」では男性が44.9%と女性(38.6%)より6.3ポイント高くなっている。年代別にみると60代が52.2%で最も高い一方、50代が32.7%と全体より9.1ポイント低い。「広報東京都」では50代(33.3%)と70歳以上(34.9%)が全体より10ポイント以上高い。

【属性別】

回答者属性	全体	性別		年代						地域	
		男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	23区	市町村
n	778	392	386	95	156	176	153	115	83	553	225
広報東京都	22.6%	24.2%	21.0%	15.8%	14.1%	15.9%	33.3%	27.0%	34.9%	22.8%	22.2%
東京都ホームページ	15.6%	18.1%	13.0%	15.8%	21.2%	15.3%	12.4%	13.9%	13.3%	14.5%	18.2%
区市町村の 広報紙・回覧板など	15.4%	16.6%	14.2%	12.6%	13.5%	13.6%	13.7%	17.4%	26.5%	14.8%	16.9%
区市町村ホームページ	8.2%	9.2%	7.3%	4.2%	11.5%	7.4%	7.8%	7.8%	9.6%	6.9%	11.6%
テレビ	41.8%	44.9%	38.6%	45.3%	45.5%	39.2%	32.7%	52.2%	38.6%	41.4%	42.7%
ラジオ	4.4%	5.6%	3.1%	5.3%	3.8%	4.0%	3.9%	5.2%	4.8%	3.8%	5.8%
新聞	11.7%	15.6%	7.8%	6.3%	5.8%	9.7%	7.8%	17.4%	32.5%	13.0%	8.4%
学校や会社等での案内	8.2%	5.6%	10.9%	13.7%	14.1%	9.7%	5.2%	1.7%	2.4%	7.1%	11.1%
警察署からの案内	2.1%	2.3%	1.8%	—	3.2%	2.3%	—	4.3%	2.4%	2.0%	2.2%
保険会社等の チラシ、案内	12.9%	12.0%	13.7%	11.6%	6.4%	15.3%	15.0%	13.9%	15.7%	13.6%	11.1%
自転車販売店等 での案内	13.8%	11.5%	16.1%	13.7%	12.2%	15.9%	14.4%	12.2%	13.3%	14.5%	12.0%
その他	5.5%	6.4%	4.7%	6.3%	7.1%	4.5%	6.5%	3.5%	4.8%	6.0%	4.4%

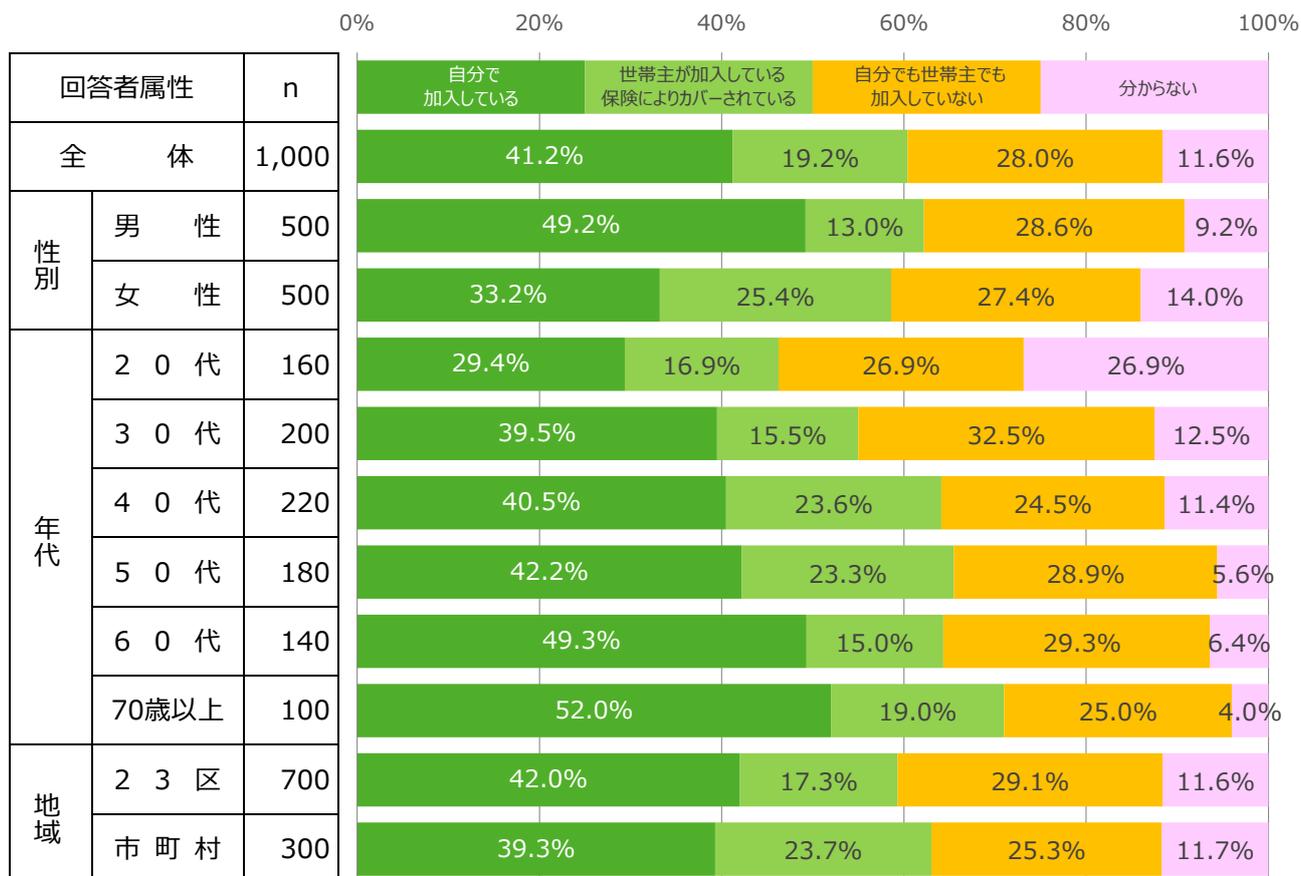
※7.「保険等への加入が義務付けられたことを含め、条例改正されたことを知っている」「条例が改正されたことは知っているが、保険等への加入が義務付けられたことは知らない」「保険等への加入が義務付けられたことは知っているが、条例が改正されたことは知らない」の回答者(n=778)が対象

自転車利用者に対する調査

9. あなたは自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入していますか。

自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等への加入状況について、「自分で加入している」「世帯主が加入している保険によりカバーされている」を合わせると、全体では 60.4%となった。年代別にみると、40 代(64.1%)、50 代(65.5%)、60 代(64.3%)で 6 割を上回っている。

一方、「自分でも世帯主でも加入していない」では 30 代が 32.5%と最も高く、20 代では「分からない」が 26.9%と高くなっている。

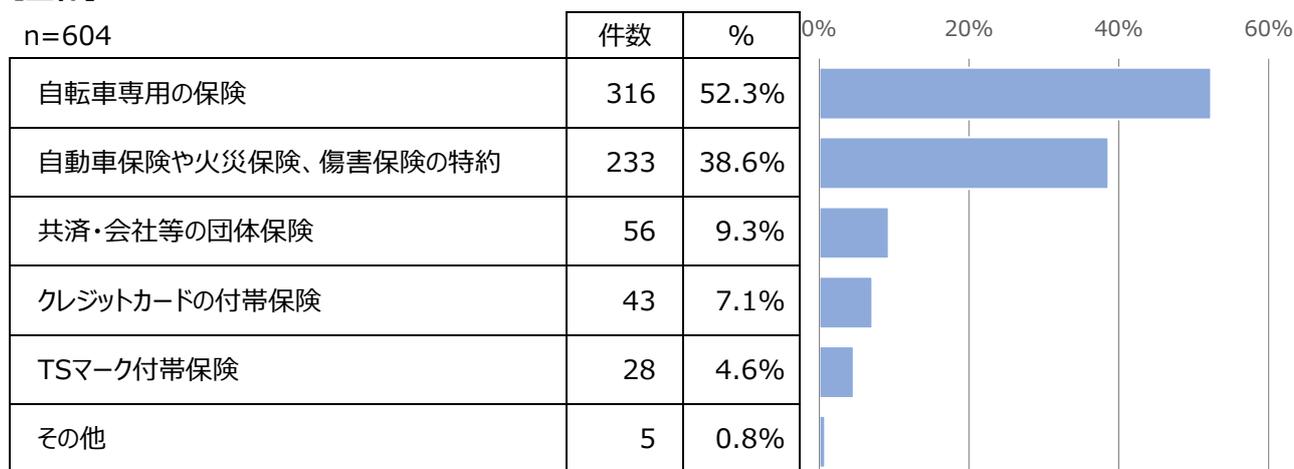


自転車利用者に対する調査

10. あなたが加入している自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等の種類を教えてください。 (複数回答)

自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等の種類については、「自転車専用の保険」が最も高く52.3%、次いで「自転車保険や火災保険、傷害保険の特約」が38.6%と続く。

【全体】



※9.「自分で加入している」「世帯主が加入している保険によりカバーされている」の回答者(n=604)が対象

自転車利用者に対する調査

10. あなたが加入している自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等の種類を教えてください。 (複数回答)

自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等の種類について、全体で最も高い「自転車専用の保険」では、20代が73.0%で全体より20.7ポイント高い。地域別では、23区が54.2%と市町村(48.1%)より6.1ポイント高くなっている。

「自転車保険や火災保険、傷害保険の特約」では40代以上の各年代で4割を超えており、地域別では市町村が44.1%と23区(35.9%)より8.5ポイント高い。

【属性別】

回答者属性	全体	性別		年代						地域	
		男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	23区	市町村
n	604	311	293	74	110	141	118	90	71	415	189
自転車専用の保険	52.3%	53.4%	51.2%	73.0%	64.5%	46.8%	40.7%	41.1%	56.3%	54.2%	48.1%
自動車保険や火災保険、傷害保険の特約	38.6%	41.2%	35.8%	28.4%	23.6%	41.1%	47.5%	45.6%	43.7%	35.9%	44.4%
共済・会社等の団体保険	9.3%	7.1%	11.6%	13.5%	13.6%	7.1%	7.6%	10.0%	4.2%	9.4%	9.0%
クレジットカードの付帯保険	7.1%	6.8%	7.5%	12.2%	11.8%	6.4%	6.8%	4.4%	—	7.0%	7.4%
TSマーク付帯保険	4.6%	5.8%	3.4%	10.8%	6.4%	3.5%	4.2%	2.2%	1.4%	5.5%	2.6%
その他	0.8%	—	1.7%	—	—	1.4%	0.8%	1.1%	1.4%	1.0%	0.5%

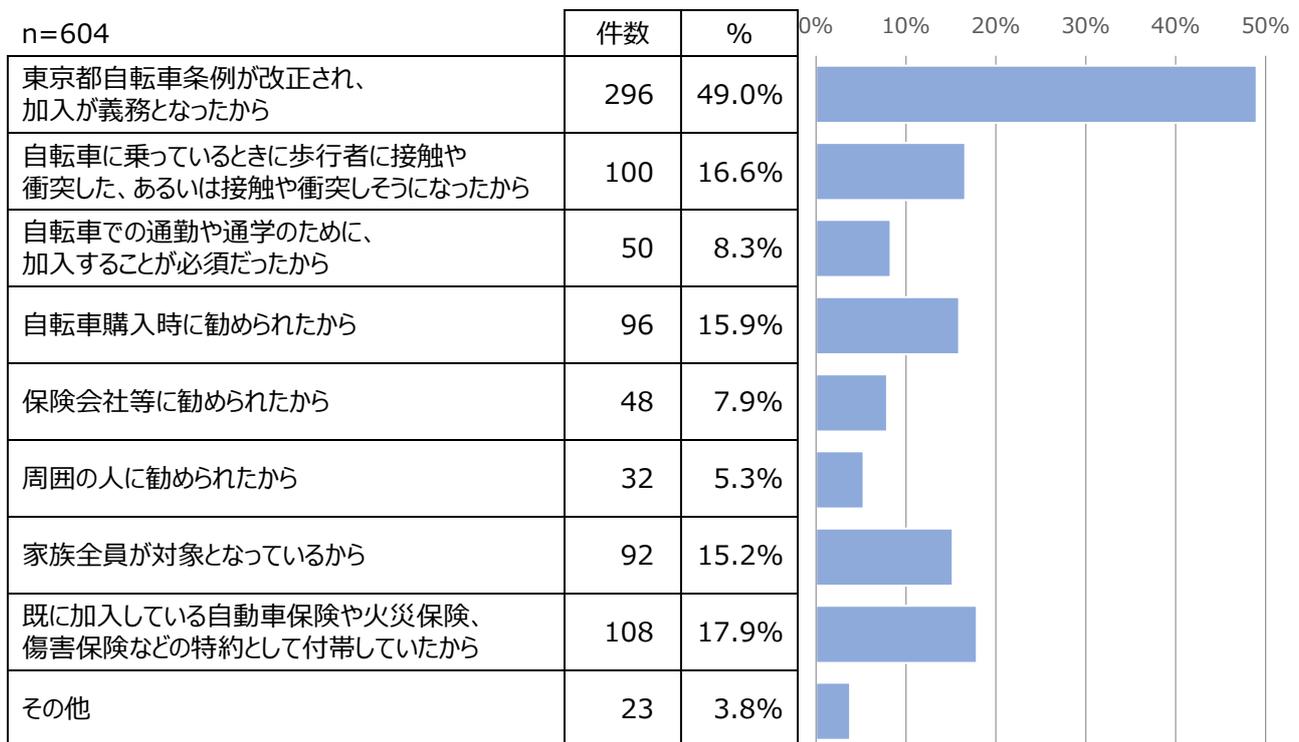
※9.「自分で加入している」「世帯主が加入している保険によりカバーされている」の回答者(n=604)が対象

自転車利用者に対する調査

11. あなたが自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入したきっかけは何ですか。 (複数回答)

自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入したきっかけについては、「東京都自転車条例が改正され、加入が義務となったから」が 49.0%と約半数で最も高く、次いで「既に加している自動車保険や火災保険、傷害保険などの特約として付帯していたから」が 17.9%、「自転車に乗っているときに歩行者に接触や衝突した、あるいは接触や衝突しそうになったから」が 16.6%と続く。

【全体】



※9.「自分で加している」「世帯主が加している保険によりカバーされている」の回答者(n=604)が対象

▷ 「その他」の内容	(23件)
必要性を感じたから／心配だったから	10
自転車事故が増えているから	4
家族が加入したから	4
以前に事故にあったから	2
毎年団体加入している保険だから	1
自転車通勤を始めたから	1
なんとなく	1

自転車利用者に対する調査

11. あなたは自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入したきっかけは何ですか。

(複数回答)

自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入したきっかけについて、全体で最も高い「東京都自転車条例が改正され、加入が義務となったから」では、男性が 51.4%と女性(46.4%)より 5.0 ポイント高く、年代別にみると 30 代が 55.5%と最も高くなっている。「既に参加している自動車保険や火災保険、傷害保険などの特約として付帯していたから」では年代が高くなるにつれて割合が高くなっている。

【属性別】

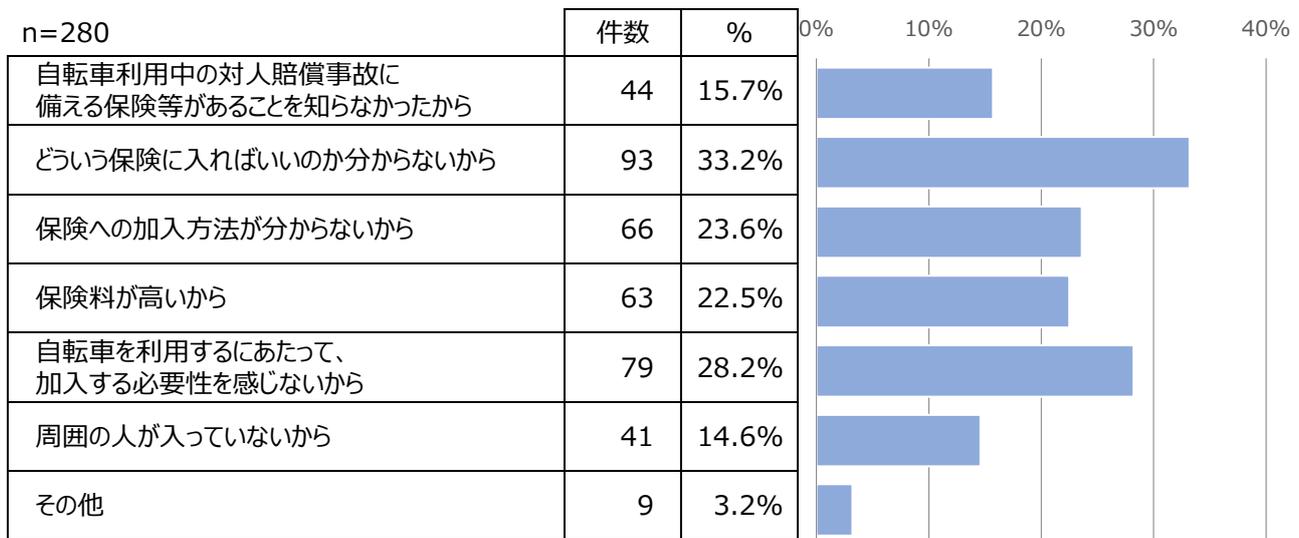
回答者属性	全体	性別		年代						地域	
		男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	23区	市町村
n	604	311	293	74	110	141	118	90	71	415	189
東京都自転車条例が改正され、加入が義務となったから	49.0%	51.4%	46.4%	45.9%	55.5%	47.5%	50.0%	46.7%	46.5%	48.9%	49.2%
自転車に乗っているときに歩行者に接触や衝突した、あるいは接触や衝突しそうになったから	16.6%	20.9%	11.9%	18.9%	17.3%	16.3%	13.6%	17.8%	16.9%	15.9%	18.0%
自転車での通勤や通学のために、加入することが必須だったから	8.3%	9.3%	7.2%	20.3%	13.6%	7.1%	6.8%	2.2%	—	8.2%	8.5%
自転車購入時に勧められたから	15.9%	14.5%	17.4%	32.4%	21.8%	11.3%	10.2%	11.1%	14.1%	16.9%	13.8%
保険会社等に勧められたから	7.9%	8.4%	7.5%	14.9%	5.5%	7.8%	6.8%	8.9%	5.6%	8.4%	6.9%
周囲の人に勧められたから	5.3%	5.8%	4.8%	5.4%	9.1%	5.0%	4.2%	1.1%	7.0%	5.1%	5.8%
家族全員が対象となっているから	15.2%	10.9%	19.8%	9.5%	16.4%	19.1%	14.4%	15.6%	12.7%	14.9%	15.9%
既に参加している自動車保険や火災保険、傷害保険などの特約として付帯していたから	17.9%	16.4%	19.5%	5.4%	12.7%	16.3%	22.0%	23.3%	28.2%	16.6%	20.6%
その他	3.8%	4.8%	2.7%	—	4.5%	3.5%	3.4%	5.6%	5.6%	4.6%	2.1%

※9.「自分で加入している」「世帯主が加入している保険によりカバーされている」の回答者(n=604)が対象

12. あなたが自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入していない理由を教えてください。 (複数回答)

自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入していない理由については、「どうい保険に入ればいいのか分からないから」が 33.2%で最も高く、次いで「自転車を利用するにあたって、加入する必要性を感じないから」が 28.2%、「保険料への加入方法が分からないから」が 23.6%、「保険料が高いから」が 22.5%と続く。

【全体】



※9.「自分でも世帯主でも加入していない」の回答者(n=280)が対象

▷ 「その他」の内容	(9件)
たまにしか自転車に乗らないから	3
面倒だから	2
保険があることを知らなかった	1
自転車の購入時に案内されなかった	1
レンタサイクル・シェアサイクルで保険料金も含まれているから	1
検討中	1

自転車利用者に対する調査

12. あなたが自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入していない理由を教えてください。 (複数回答)

自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入していない理由について、最も高い「**どういう保険に入ればいいのか分からないから**」では、女性が 37.2%と男性(29.4%)より 7.8 ポイント高い。年代別にみると、40代が 38.9%で全体より 5.7 ポイント高い。
「**自転車を利用するにあたって、加入する必要性を感じないから**」との回答は、男性が 32.9%と女性(23.4%)より 9.5 ポイント高く、また、50代以上の各年代では 3割を上回っている。

【属性別】

回答者属性	全体	性別		年代						地域	
		男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	23区	市町村
n	280	143	137	43	65	54	52	41	25	204	76
自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等があることを知らなかったから	15.7%	19.6%	11.7%	30.2%	15.4%	16.7%	5.8%	12.2%	16.0%	14.7%	18.4%
どういう保険に入ればいいのか分からないから	33.2%	29.4%	37.2%	32.6%	35.4%	38.9%	32.7%	31.7%	20.0%	31.4%	38.2%
保険への加入方法が分からないから	23.6%	24.5%	22.6%	25.6%	30.8%	25.9%	21.2%	14.6%	16.0%	25.0%	19.7%
保険料が高いから	22.5%	25.9%	19.0%	16.3%	24.6%	24.1%	23.1%	19.5%	28.0%	24.0%	18.4%
自転車を利用するにあたって、加入する必要性を感じないから	28.2%	32.9%	23.4%	23.3%	29.2%	20.4%	32.7%	34.1%	32.0%	28.9%	26.3%
周囲の人が入っていないから	14.6%	8.4%	21.2%	7.0%	10.8%	25.9%	13.5%	17.1%	12.0%	14.2%	15.8%
その他	3.2%	2.8%	3.6%	4.7%	3.1%	5.6%	—	2.4%	4.0%	2.9%	3.9%

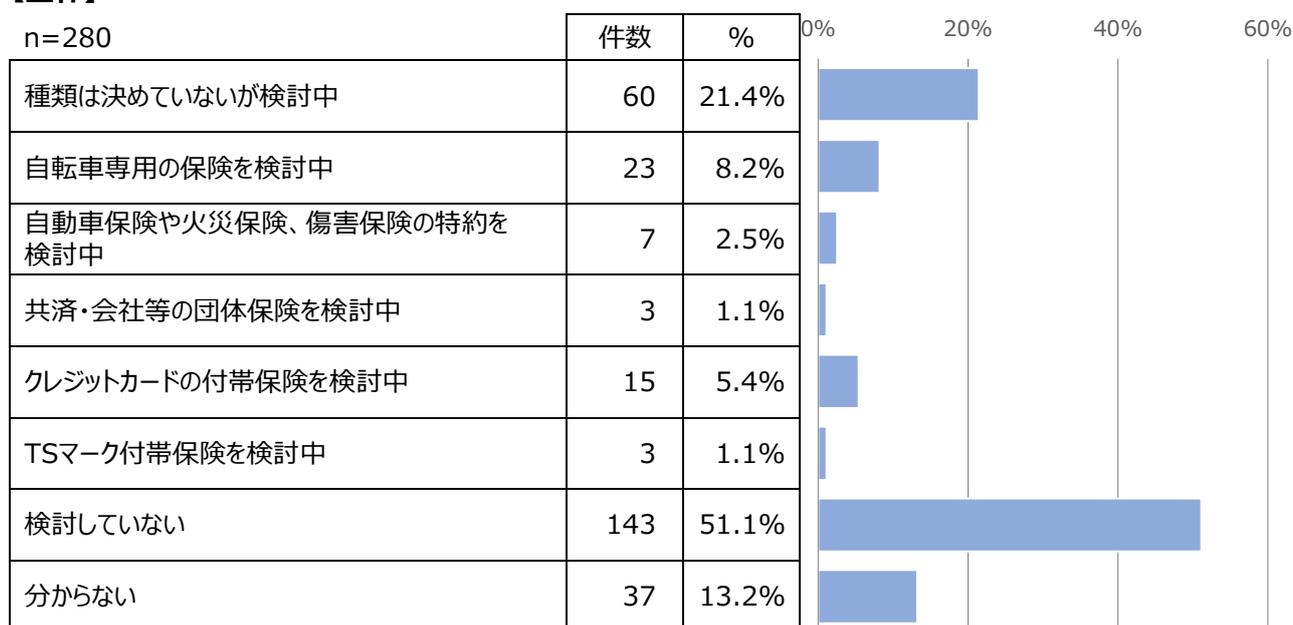
※9.「自分でも世帯主でも加入していない」の回答者(n=280)が対象

13. あなたは自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等への加入を検討していますか。 (複数回答)

自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等への加入の検討状況については、加入を検討している人の中では「種類は決めていないが検討中」が 21.4%で最も高く、次いで「自転車専用の保険を検討中」が 8.2%と続く。

また、自分でも世帯主でも保険等に加入していない利用者のうち、半数以上の 51.1%が「検討していない」とし、「分からない」との回答は 13.2%であった。

【全体】



※9.「自分でも世帯主でも加入していない」の回答者(n=280)が対象

13. あなたは自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等への加入を検討していますか。

(複数回答)

自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等への加入の検討状況について、「種類は決めていないが検討中」では男性が25.2%と女性(17.5%)より7.7ポイント高く、年代別にみると50代が26.9%で最も高い。また、「検討していない」では、女性が53.3%と半数以上となっており、年代別にみると20代(58.1%)、40代(53.7%)、60代(53.7%)で5割を超えている。

【属性別】

回答者属性	全体	性別		年代						地域	
		男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	23区	市町村
n	280	143	137	43	65	54	52	41	25	204	76
種類は決めていないが検討中	21.4%	25.2%	17.5%	18.6%	24.6%	22.2%	26.9%	14.6%	16.0%	23.5%	15.8%
自転車専用の保険を検討中	8.2%	8.4%	8.0%	7.0%	10.8%	5.6%	5.8%	4.9%	20.0%	7.8%	9.2%
自動車保険や火災保険、傷害保険の特約を検討中	2.5%	2.1%	2.9%	2.3%	1.5%	—	3.8%	4.9%	4.0%	2.5%	2.6%
共済・会社等の団体保険を検討中	1.1%	1.4%	0.7%	—	—	1.9%	1.9%	—	4.0%	1.0%	1.3%
クレジットカードの付帯保険を検討中	5.4%	3.5%	7.3%	9.3%	4.6%	1.9%	5.8%	7.3%	4.0%	5.4%	5.3%
TSマーク付帯保険を検討中	1.1%	1.4%	0.7%	—	1.5%	3.7%	—	—	—	1.5%	—
検討していない	51.1%	49.0%	53.3%	58.1%	46.2%	53.7%	48.1%	53.7%	48.0%	50.5%	52.6%
分からない	13.2%	11.9%	14.6%	4.7%	20.0%	13.0%	11.5%	17.1%	8.0%	12.7%	14.5%

※9.「自分でも世帯主でも加入していない」の回答者(n=280)が対象

14. あなたは自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等への加入率の向上に必要なことは何だと思いますか。(複数回答)

自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等への加入率の向上に必要なことについては、「自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等についての詳しい情報が提供される」「手に入れやすい価格（安価）のものが増える」がそれぞれ 50.5%で最も高く、次いで「自転車版の自賠償保険（強制保険）制度をつくる」が 30.6%と続く。

【全体】

n=1,000	件数	%	
自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等についての詳しい情報が提供される	505	50.5%	
手に入れやすい価格(安価)のものが増える	505	50.5%	
行政が加入に係る経費の補助をする	212	21.2%	
行政が加入しやすい団体保険をつくる	193	19.3%	
自転車版の自賠償保険(強制保険)制度をつくる	306	30.6%	
未加入者に罰則が科せられる	153	15.3%	
その他	7	0.7%	

▷ 「その他」の内容

(7件)

自転車購入時の案内	1
保険加入の動機付けとなるような情報提供	1
自分の保険加入状況をすぐに分かるようにする	1
自転車を免許制にする	1
コマーシャルを流す	1
特にない／わからない	2

自転車利用者に対する調査

14. あなたは自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等への加入率の向上に必要なことは何だと思いますか。(複数回答)

自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等への加入率の向上に必要なことについて、「自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等についての詳しい情報が提供される」では70代が57.0%と全体より6.5ポイント高く、「手に入れやすい価格(安価)のものが増える」では20代が56.9%と全体より6.4ポイント高い。また、「自転車版の自賠責保険(強制保険)制度をつくる」では70歳以上が41.0%と全体より10.4ポイント高い。

【属性別】

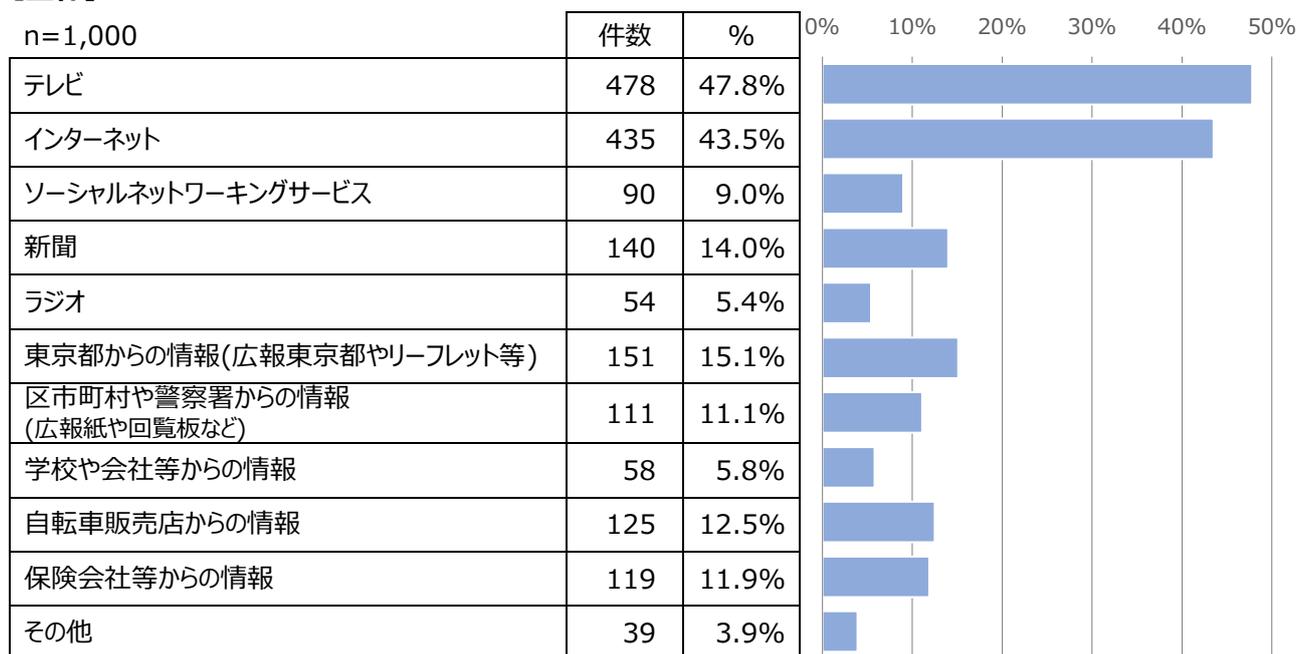
回答者属性	全体	性別		年代						地域	
		男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	23区	市町村
n	1,000	500	500	160	200	220	180	140	100	700	300
自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等についての詳しい情報が提供される	50.5%	50.4%	50.6%	49.4%	52.5%	44.1%	51.7%	52.9%	57.0%	51.9%	47.3%
手に入れやすい価格(安価)のものが増える	50.5%	52.0%	49.0%	56.9%	51.0%	52.3%	47.2%	50.7%	41.0%	49.0%	54.0%
行政が加入に係る経費の補助をする	21.2%	22.8%	19.6%	23.8%	24.0%	20.0%	22.2%	17.9%	17.0%	21.6%	20.3%
行政が加入しやすい団体保険をつくる	19.3%	17.4%	21.2%	19.4%	19.5%	16.4%	20.0%	21.4%	21.0%	19.4%	19.0%
自転車版の自賠責保険(強制保険)制度をつくる	30.6%	30.8%	30.4%	18.8%	30.5%	32.7%	29.4%	35.0%	41.0%	32.0%	27.3%
未加入者に罰則が科せられる	15.3%	17.4%	13.2%	13.1%	18.0%	18.6%	18.3%	10.0%	8.0%	15.7%	14.3%
その他	0.7%	0.8%	0.6%	0.6%	1.0%	0.5%	0.6%	0.7%	1.0%	0.9%	0.3%

自転車利用者に対する調査

15. あなたは自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等の情報をどこから得ていますか。 (複数回答)

自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等の情報源については、「テレビ」が47.8%で最も高く、次いで「インターネット」が43.5%、「東京都からの情報(広報東京都やリーフレット等)」が15.1%、「新聞」が14.0%と続く。

【全体】



▷ 「その他」の内容

(39件)

家族から	10
知人から	1
ツイッター	1
このアンケートで知った	1
わからない	1
特になし／情報を得ていない	25

自転車利用者に対する調査

15. あなたは自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等の情報をどこから得ていますか。

(複数回答)

自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等の情報源について、「テレビ」では 40 代(54.5%)と 60 代(52.1%)が 5 割を超えている。「インターネット」では 30 代が 51.5%で全体より 8.0 ポイント高く、70 歳以上が 22.0%で全体より 21.5 ポイント低い。

一方、「東京都からの情報(広報東京都やリーフレット等)」では 70 歳以上が 29.0%で全体より 13.9 ポイント高く、「新聞」でも 70 歳以上が 39.0%で全体より 25.0 ポイント高い。

【属性別】

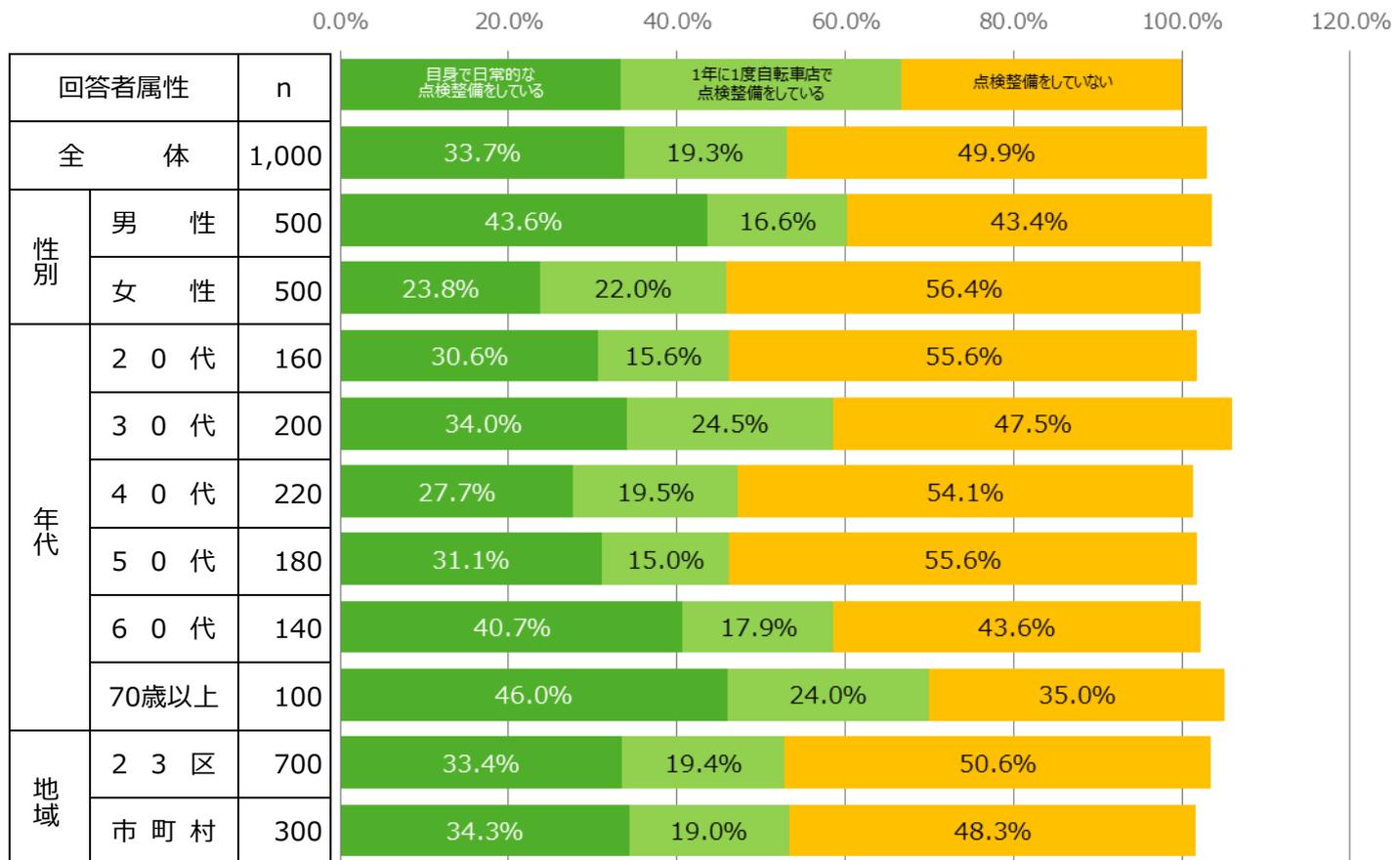
回答者属性	全体	性別		年代						地域	
		男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	23区	市町村
n	1,000	500	500	160	200	220	180	140	100	700	300
テレビ	47.8%	48.8%	46.8%	41.3%	47.0%	54.5%	43.9%	52.1%	46.0%	48.3%	46.7%
インターネット	43.5%	51.6%	35.4%	44.4%	51.5%	48.6%	41.1%	41.4%	22.0%	42.6%	45.7%
ソーシャルネットワーキングサービス	9.0%	10.0%	8.0%	17.5%	14.0%	7.7%	5.6%	4.3%	1.0%	8.4%	10.3%
新聞	14.0%	15.4%	12.6%	4.4%	7.5%	11.4%	12.2%	22.9%	39.0%	14.4%	13.0%
ラジオ	5.4%	6.2%	4.6%	5.6%	4.0%	6.4%	5.0%	6.4%	5.0%	5.4%	5.3%
東京都からの情報 (広報東京都やリーフレット等)	15.1%	15.4%	14.8%	10.0%	12.5%	13.2%	13.9%	19.3%	29.0%	14.7%	16.0%
区市町村や警察署からの情報 (広報紙や回覧板など)	11.1%	10.0%	12.2%	8.1%	9.0%	7.7%	10.6%	11.4%	28.0%	10.1%	13.3%
学校や会社等からの情報	5.8%	5.0%	6.6%	7.5%	9.5%	5.9%	6.1%	1.4%	1.0%	4.9%	8.0%
自転車販売店からの情報	12.5%	10.6%	14.4%	11.9%	14.0%	9.5%	11.7%	13.6%	17.0%	13.9%	9.3%
保険会社等からの情報	11.9%	11.4%	12.4%	8.1%	8.5%	11.8%	15.6%	15.0%	14.0%	11.0%	14.0%
その他	3.9%	3.0%	4.8%	6.3%	5.0%	4.1%	3.3%	0.7%	3.0%	4.4%	2.7%

自転車利用者に対する調査

16. あなたは自転車の点検整備をしていますか。(複数回答)

自転車の点検整備について、「自身での日常的な点検整備をしている」または「1年に1度自転車店で点検整備をしている」との回答は約半数。「自身での日常的な点検整備をしている」では、男性が43.6%で女性(23.8%)より19.8ポイント高く、年代別にみると70歳以上が46.0%で最も高い。

なお、女性(56.4%)、20代(55.6%)、40代(54.1%)、50代(55.6%)では5割以上が「点検整備をしていない」と回答。

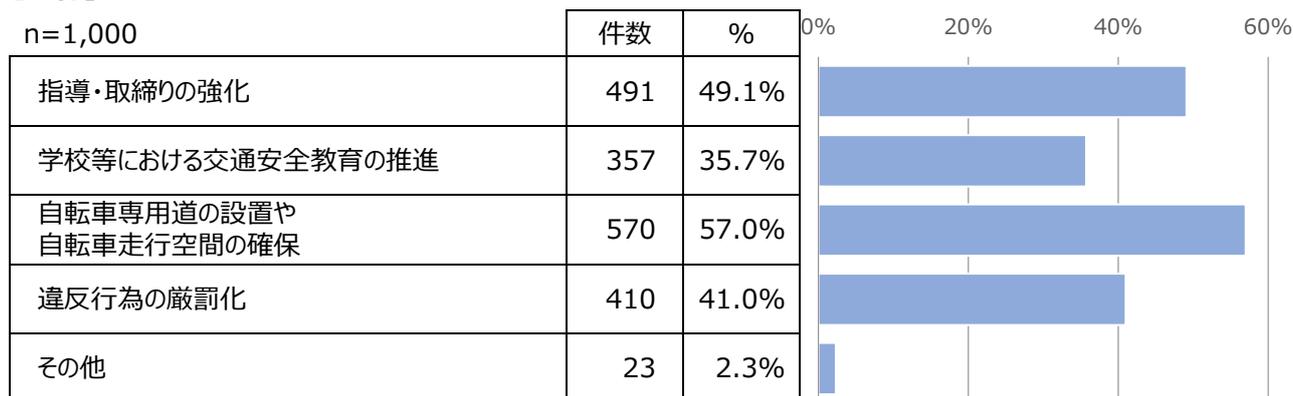


自転車利用者に対する調査

17. あなたは自転車事故を減らすために何が必要だと思いますか（複数回答）

自転車事故を減らすために何が必要だと思うかについては、「自転車専用道の設置や自転車走行空間の確保」が 57.0%と最も高く、次いで「指導・取締りの強化」が 49.1%、「違反行為の厳罰化」が 41.0%、「学校等における交通安全教育の推進」が 35.7%と続く。

【全体】



▷ 「その他」の内容

(23件)

一人ひとりの意識改革	8
免許制度の導入	7
自動車の路上駐車を取り締まり強化など	2
保険の補助	1
スピードが出やすかったりブレーキのない車両などの規制	1
TVCMなどによる啓発	1
今のままでよい	1
特になし	2

自転車利用者に対する調査

17. あなたは自転車事故を減らすために何が必要だと思いますか（複数回答）

自転車事故を減らすために何が必要だと思うかについて、「自転車専用道の設置や自転車走行空間の確保」では女性が61.2%と男性(52.8%)より8.4ポイント高く、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。「指導・取締りの強化」では男性が52.4%と女性(45.8%)より6.6ポイント高く、年代別にみると30代が54.0%で最も高い。

【属性別】

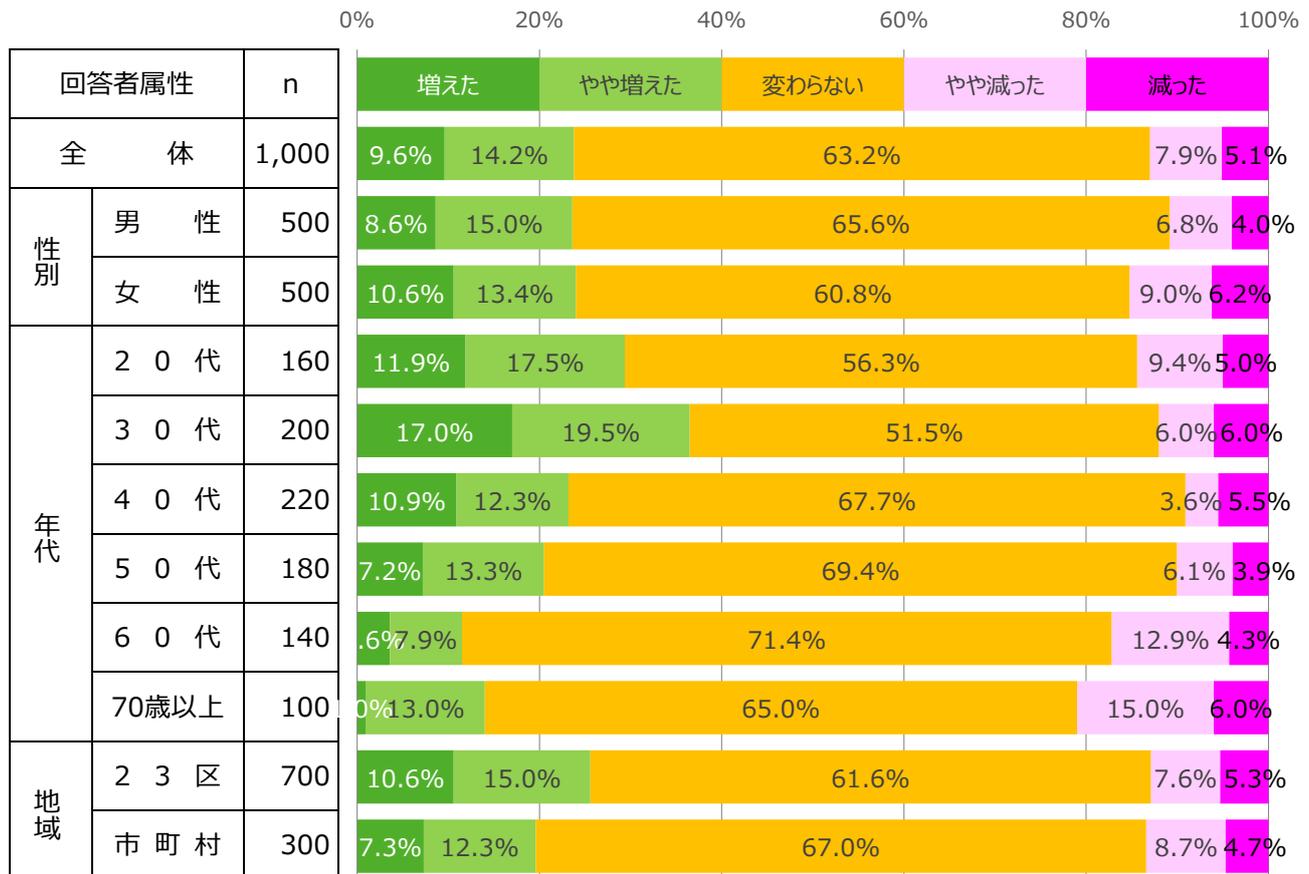
回答者属性	全体	性別		年代						地域	
		男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	23区	市町村
n	1,000	500	500	160	200	220	180	140	100	700	300
指導・取締りの強化	49.1%	52.4%	45.8%	49.4%	54.0%	46.8%	50.0%	47.1%	45.0%	49.9%	47.3%
学校等における交通安全教育の推進	35.7%	32.6%	38.8%	31.9%	41.0%	31.8%	28.3%	45.0%	40.0%	34.4%	38.7%
自転車専用道の設置や自転車走行空間の確保	57.0%	52.8%	61.2%	50.0%	53.5%	55.0%	57.2%	61.4%	73.0%	57.1%	56.7%
違反行為の厳罰化	41.0%	42.4%	39.6%	36.9%	41.0%	43.2%	45.6%	39.3%	37.0%	41.1%	40.7%
その他	2.3%	3.0%	1.6%	1.9%	1.5%	3.2%	3.9%	1.4%	1.0%	2.9%	1.0%

自転車利用者に対する調査

18. 新型コロナ流行後、自転車の利用頻度に変化がありましたか。

新型コロナ流行後の自転車の利用頻度の変化について、全体では「増えた」「やや増えた」を合わせて23.8%、「変わらない」が63.2%、「やや減った」「減った」を合わせて13.0%であった。

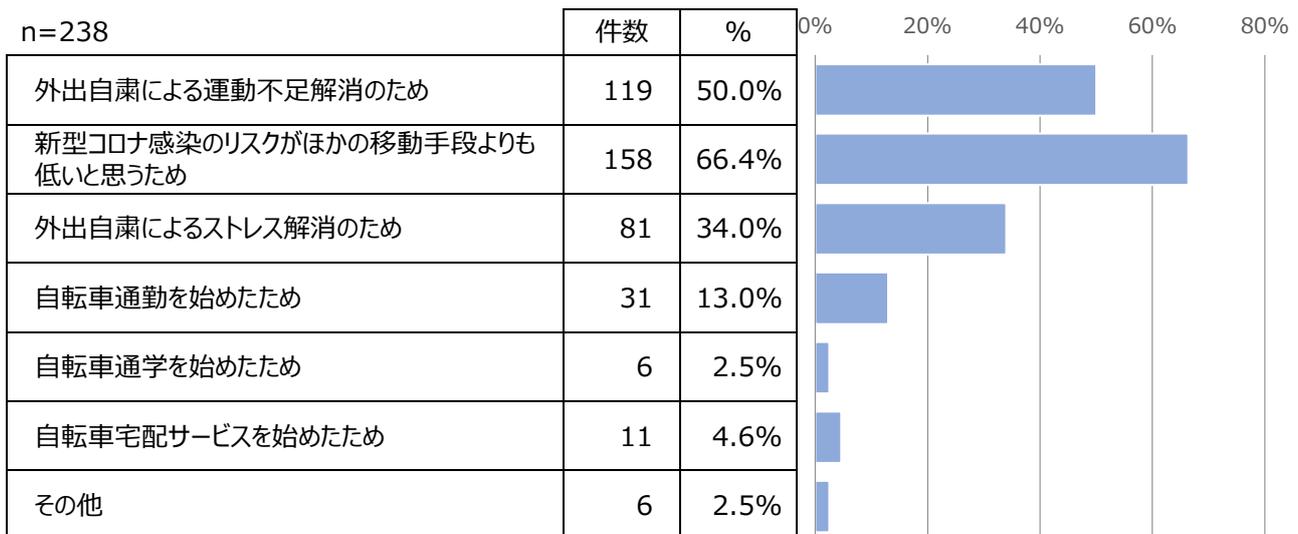
「増えた」「やや増えた」を合わせた割合を年代別にみると、30代が36.5%で最も高く、次いで20代が29.4%。「変わらない」では60代が71.4%で最も高く、「やや減った」「減った」を合わせた割合では70歳以上が21.0%で最も高い。



19. 新型コロナ流行後、自転車の利用頻度が増えた理由を教えてください。

新型コロナ流行後に自転車の利用頻度が増えた理由については、「新型コロナ感染のリスクがほかの移動手段よりも低いと思うため」が 66.4%と最も高く、次いで「外出自粛による運動不足解消のため」が 50.0%、「外出自粛によるストレス解消のため」が 34.0%、「自転車通勤を始めたため」が 13.0%と続く。

【全体】



※18.「増えた」「やや増えた」の回答者(n=238)が対象

▷ 「その他」の内容	(6件)
食品など買出しをする機会が増えたため	1
自転車に乗る仕事が増えたため	1
子供の用事が増えたため	1
定期の支給がなくなり、近隣の駅に行く際に移動手段が欲しかったため	1
近所にしか出掛けなくなったため	1
遠出の買い物なども自転車で行くようになった	1

自転車利用者に対する調査

19. 新型コロナ流行後、自転車の利用頻度が増えた理由を教えてください。

新型コロナ流行後に自転車の利用頻度が増えた理由について、「新型コロナ感染のリスクがほかの移動手段よりも低いと思うため」では女性が 73.3%と男性(59.3%)より 14.0 ポイント高くなっている。一方、「外出自粛による運動不足解消のため」では男性が 55.9%と女性(44.2%)より 11.7 ポイント高く、「外出自粛によるストレス解消のため」でも男性が 37.3%と女性(30.8%)より 6.5 ポイント高い。

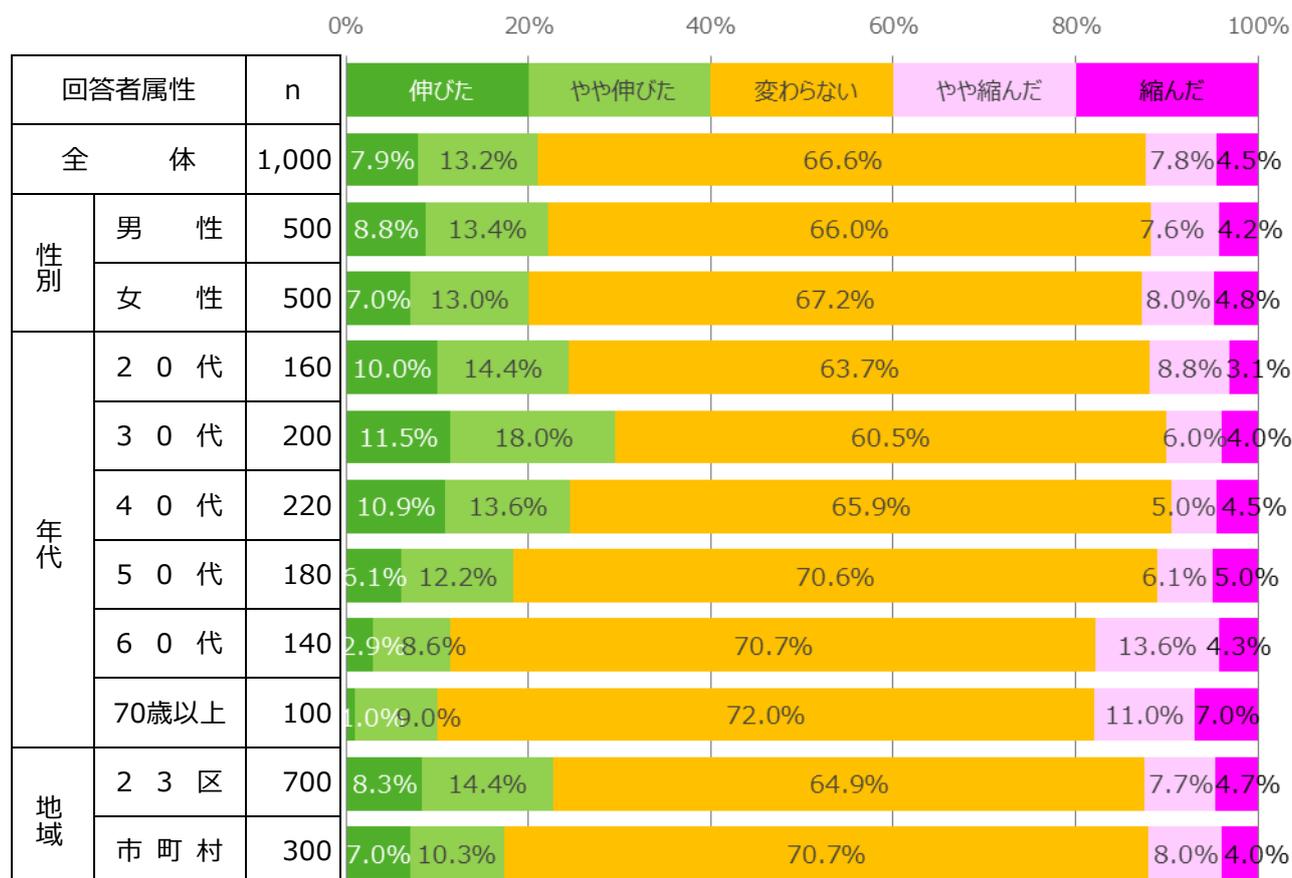
【属性別】

回答者属性	全体	性別		年代						地域	
		男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	23区	市町村
n	238	118	120	47	73	51	37	16	14	179	59
外出自粛による運動不足解消のため	50.0%	55.9%	44.2%	48.9%	49.3%	45.1%	54.1%	81.3%	28.6%	48.0%	55.9%
新型コロナ感染のリスクがほかの移動手段よりも低いと思うため	66.4%	59.3%	73.3%	55.3%	60.3%	70.6%	78.4%	68.8%	85.7%	65.4%	69.5%
外出自粛によるストレス解消のため	34.0%	37.3%	30.8%	27.7%	46.6%	23.5%	29.7%	43.8%	28.6%	36.9%	25.4%
自転車通勤を始めたため	13.0%	14.4%	11.7%	14.9%	15.1%	15.7%	13.5%	—	—	14.0%	10.2%
自転車通学を始めたため	2.5%	3.4%	1.7%	4.3%	2.7%	2.0%	2.7%	—	—	2.8%	1.7%
自転車宅配サービスを始めたため	4.6%	7.6%	1.7%	8.5%	4.1%	5.9%	2.7%	—	—	4.5%	5.1%
その他	2.5%	2.5%	2.5%	—	5.5%	3.9%	—	—	—	3.4%	—

※18.「増えた」「やや増えた」の回答者(n=238)が対象

20. 新型コロナ流行後、自転車の利用距離に変化がありましたか。

新型コロナ流行後の自転車の利用距離の変化について、全体では「伸びた」「やや伸びた」を合わせて21.1%、「変わらない」が66.6%、「やや縮んだ」「縮んだ」を合わせて12.3%であった。「伸びた」「やや伸びた」を合わせた割合を年代別にみると、30代が29.5%で最も高く、40代が24.5%、20代が24.4%と続く。「変わらない」では50代以上が7割を超えており、「やや縮んだ」「縮んだ」を合わせた割合では60代(17.9%)と70歳以上(18.0%)の割合が高い。

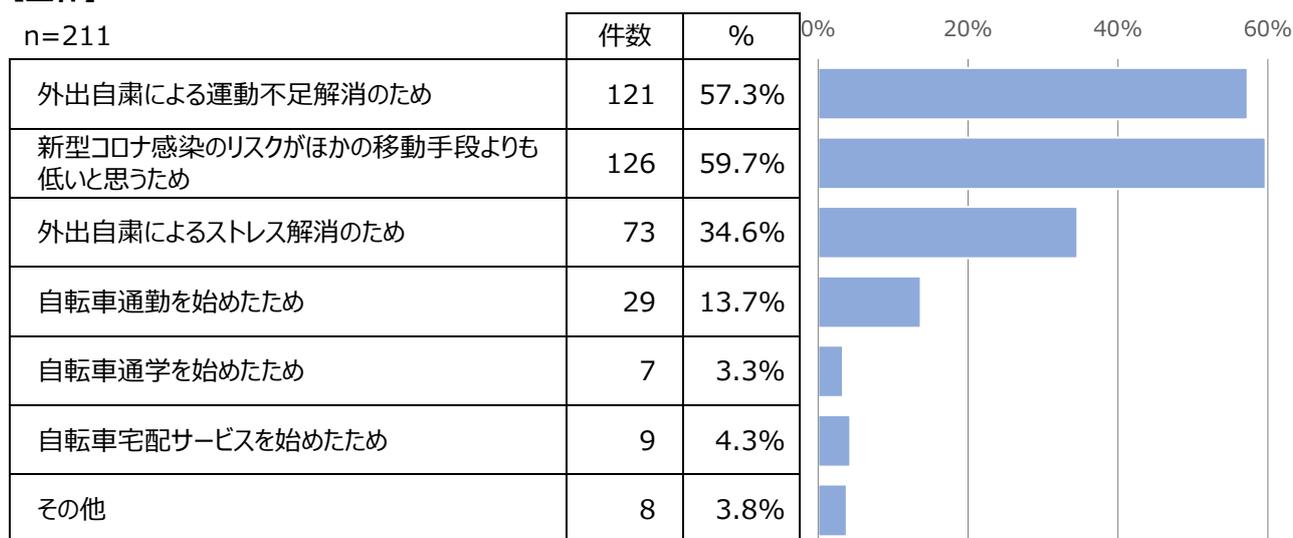


自転車利用者に対する調査

21. 新型コロナ流行後、自転車の利用距離が伸びた理由を教えてください。

新型コロナ流行後に自転車の利用距離が伸びた理由については、「新型コロナ感染のリスクがほかの移動手段よりも低いと思うため」が 59.7%と最も高く、次いで「外出自粛による運動不足解消のため」が 57.3%、「外出自粛によるストレス解消のため」が 34.6%、「自転車通勤を始めたため」が 13.7%と続く。

【全体】



※20.「伸びた」「やや伸びた」の回答者(n=211)が対象

▷ 「その他」の内容	(8件)
遠くの場所へも自転車で行くようになったため	2
仕事上の関係	2
買い出しの機会が増えたため	1
子供の用事が増えたため	1
徒歩移動が大変だから	1
特に理由はない	1

自転車利用者に対する調査

21. 新型コロナ流行後、自転車の利用距離が伸びた理由を教えてください。

新型コロナ流行後に自転車の利用距離が伸びた理由について、「新型コロナ感染のリスクがほかの移動手段よりも低いと思うため」では女性が 64.0%と男性(55.9%)より 8.1 ポイント高くなっている。一方、「外出自粛による運動不足解消のため」では男性が 61.3%と女性(53.0%)より 8.3 ポイント高い。

【属性別】

回答者属性	全体	性別		年代						地域	
		男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	23区	市町村
n	211	111	100	39	59	54	33	16	10	159	52
外出自粛による運動不足解消のため	57.3%	61.3%	53.0%	48.7%	59.3%	53.7%	60.6%	75.0%	60.0%	55.3%	63.5%
新型コロナ感染のリスクがほかの移動手段よりも低いと思うため	59.7%	55.9%	64.0%	53.8%	62.7%	53.7%	69.7%	56.3%	70.0%	61.6%	53.8%
外出自粛によるストレス解消のため	34.6%	34.2%	35.0%	25.6%	39.0%	27.8%	39.4%	43.8%	50.0%	35.2%	32.7%
自転車通勤を始めたため	13.7%	16.2%	11.0%	15.4%	15.3%	20.4%	9.1%	0.0%	0.0%	15.1%	9.6%
自転車通学を始めたため	3.3%	3.6%	3.0%	2.6%	5.1%	3.7%	3.0%	0.0%	0.0%	3.8%	1.9%
自転車宅配サービスを始めたため	4.3%	7.2%	1.0%	10.3%	1.7%	7.4%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	5.8%
その他	3.8%	4.5%	3.0%	0.0%	3.4%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	4.4%	1.9%

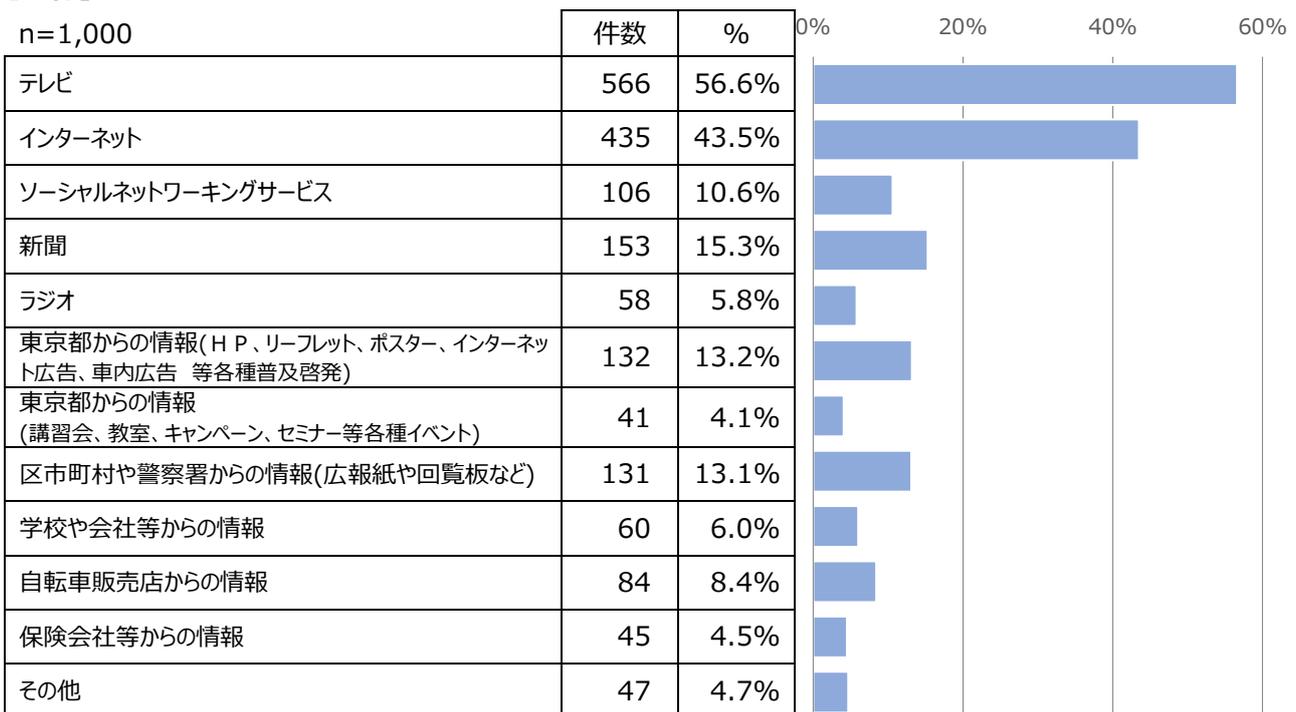
※20.「伸びた」「やや伸びた」の回答者(n=211)が対象

自転車利用者に対する調査

22. あなたは自転車の安全利用に関する情報をどこから得ていますか。(複数回答)

自転車の安全利用に関する情報源については、「テレビ」が 56.6%で最も高く、次いで「インターネット」が 43.5%、「新聞」が 15.3%、「東京都からの情報(HP、リーフレット、ポスター、インターネット広告、車内広告等各種普及啓発)」が 13.2%、「区市町村や警察署からの情報(広報紙や回覧板など)」が 13.1%と続く。

【全体】



▷ 「その他」の内容

(47件)

家族から	1
保険会社のメルマガ	1
ツイッター	1
自分で考える	1
わからない	1
特になし／情報を得ていない	42

自転車利用者に対する調査

22. あなたは自転車の安全利用に関する情報をどこから得ていますか。(複数回答)

自転車の安全利用に関する情報源について、「テレビ」では60代が64.3%と最も高く、20代を除くすべての年代で5割を超えている。「インターネット」では30代が55.0%で全体より11.5ポイント高く、70歳以上が27.0%で全体より16.5ポイント低い。一方、「新聞」では70歳以上が48.0%で全体より32.7ポイント高く、「東京都からの情報(H P、リーフレット、ポスター、インターネット広告、車内広告等各種普及啓発)」「区市町村や警察署からの情報(広報紙や回覧板など)でも70歳以上の割合が全体より10ポイント以上高い。

【属性別】

回答者属性	全体	性別		年代						地域	
		男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	23区	市町村
n	1,000	500	500	160	200	220	180	140	100	700	300
テレビ	56.6%	55.4%	57.8%	47.5%	50.5%	64.5%	55.0%	64.3%	58.0%	56.9%	56.0%
インターネット	43.5%	52.2%	34.8%	45.6%	55.0%	49.1%	36.1%	37.1%	27.0%	42.3%	46.3%
ソーシャルネットワーキングサービス	10.6%	13.4%	7.8%	18.1%	17.5%	10.0%	6.1%	4.3%	3.0%	11.3%	9.0%
新聞	15.3%	17.2%	13.4%	5.0%	8.0%	10.5%	12.2%	25.7%	48.0%	15.6%	14.7%
ラジオ	5.8%	5.8%	5.8%	3.1%	5.5%	5.9%	6.1%	6.4%	9.0%	5.9%	5.7%
東京都からの情報(H P、リーフレット、ポスター、インターネット広告、車内広告等各種普及啓発)	13.2%	14.0%	12.4%	10.6%	10.5%	12.3%	10.6%	15.7%	26.0%	13.3%	13.0%
東京都からの情報(講習会、教室、キャンペーン、セミナー等各種イベント)	4.1%	4.0%	4.2%	3.8%	6.0%	2.3%	4.4%	3.6%	5.0%	4.1%	4.0%
区市町村や警察署からの情報(広報紙や回覧板など)	13.1%	11.0%	15.2%	8.8%	9.5%	8.2%	14.4%	16.4%	31.0%	11.6%	16.7%
学校や会社等からの情報	6.0%	4.2%	7.8%	8.1%	12.0%	5.9%	4.4%	1.4%	0.0%	5.0%	8.3%
自転車販売店からの情報	8.4%	7.2%	9.6%	9.4%	11.0%	8.2%	7.2%	6.4%	7.0%	8.9%	7.3%
保険会社等からの情報	4.5%	4.0%	5.0%	3.1%	4.0%	5.0%	4.4%	5.7%	5.0%	4.3%	5.0%
その他	4.7%	4.8%	4.6%	3.1%	5.0%	5.9%	6.1%	4.3%	2.0%	5.4%	3.0%

自転車利用者に対する調査

23. 都内の自転車の安全で適正な利用について、あなたの意見を自由にお書きください。（自由記述）

※代表的なコメントを抜粋

自転車利用者の乗り方やマナーについて 276件

性別	年代	居住地	内容
女性	20代	足立区	場所によっては死角で見えない道路もあるので、人がいないとわかっていてもきちんと止まる。ライトはきちんとつける。スマホ見ながら運転は絶対しない。歩道の左側から右側に移動するときなど一旦後ろも確認してからにする。これだけでだいぶ違うと思います。
男性	30代	練馬区	信号を守る。原則、車道を走る。自転車は法律上は軽車両という位置付けなので、その点を忘れずに運転することが大事だと思う。
男性	30代	豊島区	速度を出し過ぎない、ちょっとした交差点でも左右をしっかりと確認する、ブレーキの点検を怠らない、後ろを確認するなど、基本的な事をしっかりとやるべきです。こういう日々の積み重ねだと思います。
女性	30代	武蔵野市	基本的に歩行者優先にもかかわらず、自転車が歩行者に対し道を開けるようにベルを鳴らしたり、歩道を走ったりといったように、簡単なマナーですら守られていない。
女性	40代	江東区	歩道では歩行者優先で走るようにし、誰が見てる見ていないにかかわらず交通ルールを守る。
女性	50代	国分寺市	自転車に乗る人自身がマナーを守り、事故が起こらないよう気を付けながら乗車する必要がある。最近、自転車に乗る人が増え、マナー違反の人達も多いような気がする。
男性	60代	江東区	自分で自転車に乗るのでわかるのだが、乗っている方は歩行者が感じるほど危ないと思っておらず、脇をすり抜けても大丈夫だと思っている。
女性	60代	三鷹市	ケータイ使用やイヤホンをしながらの運転、たばこ喫煙運転、電気自転車でスピードを出しての追い越し、車道から歩道への急な侵入を行う人が多い。
男性	70歳以上	江戸川区	車と同じで自信がなくなったら交通機関を利用する。

走行・駐輪環境の整備について 226件

性別	年代	居住地	内容
男性	20代	豊島区	文京区のような自転車専用レーンを全ての区で導入すべきだと思います。
女性	20代	足立区	信号がない横断歩道をなくしてほしい。
女性	20代	世田谷区	自転車は車道を走ることになっているが、実際に車道に自転車が行く道が確保されていないことが多いので走りづらい。車に乗っていても、自転車が車道を走っているのに煩わしさを感じてしまう。かといって歩道を走るのは違反している気持ちになる。自転車が一番肩身が狭いとを感じる。
男性	30代	葛飾区	駐輪場の拡大。
女性	30代	調布市	そこまで広くない道路に自転車通行のマークを書くのをやめて欲しい。
男性	40代	墨田区	自転車専用道路の幅を広くしてほしい。専用道路に駐車している車はレッカー移動してほしい。
男性	60代	練馬区	車両の一時停止の標識は、自転車は関係ないと思って止まらずに衝突の危険性が何度もあった。道路には「自転車とまれ」のマークが書かれていますが、小さく、ペイントの色も薄くて確認しづらい。また、夜間は全く見えませんので、もっと分かりやすい標識であれば良いと思います。
男性	70歳以上	世田谷区	公道での自転車レーンは狭いし、車が駐車していることが多いのでとても危険な目に合うことが多い。車も人も入れない自転車専用レーンの構築を切に希望します。

自転車利用者に対する調査

23. 都内の自転車の安全で適正な利用について、あなたの意見を自由にお書きください。（自由記述）

※代表的なコメントを抜粋

規制・取締りの強化について 201件

性別	年代	居住地	内容
男性	20代	瑞穂町	自転車は免許制度がないから、乗る人が増えればそれだけ危険な運転をする人も増えるし、罰則を強化することが一番効果的な対策なんだろうなと思う。
男性	30代	国分寺市	自転車は車両であることが認知されておらず、危険な交通違反が後をたたない。免許制にして逆走や信号無視などの罰則・免停を制度として導入すべき。
女性	50代	江戸川区	自動車のようにナンバープレートをつければ違反者が減るのではないかと思う。
男性	50代	江戸川区	業務で使う人は都や区への届け出を義務付け、ヘルメットを着用させる。逆走や信号無視を厳しく取り締まり、場合によっては罰金をとる。
男性	70歳以上	練馬区	自転車もこれだけ利用者が増えてくると何らかの規制、処罰（罰金等）が必要。注意だけでは問題の解決にはならないので早急に動くべきだ。

教育・指導・啓発について 102件

性別	年代	居住地	内容
女性	30代	東村山市	車道を左側通行ではなく逆走している自転車をけっこう目撃する。年代にかかわらず、自転車の運転知識をもっとしっかりと教える機会や情報提供の場がほしい。
女性	40代	杉並区	免許を持ってない人は交通ルールを知らなくて安全確認すらしないので、講習を受けないとダメな仕組みにしてほしい。
男性	50代	世田谷区	自転車事故の啓蒙動画の普及。
女性	70歳以上	練馬区	子供が小学生の頃、PTAが率先して自転車教室を行いました。最寄りの警察署が交通ルールを守る指導をしてくれました。学校教育の中で自転車のルールを教えてもらえたら大きな事故につながらないと思います。

損害賠償保険などについて 11件

性別	年代	居住地	内容
女性	30代	大田区	対人事故が多くなり、老人や幼児との接触事故に備え、保険に入るのは必須と思う。
男性	50代	板橋区	保険の義務化は日頃からルールを守って安全運転している人にはいい迷惑である。
女性	60代	杉並区	自転車を購入時に防犯登録と共に自賠責保険を強制的に加入させるようにする。

その他 16件

性別	年代	居住地	内容
男性	20代	八王子市	エネルギーと国民の健康のことを考えると、自動車よりもむしろ自転車を優遇した方が良いと思う。
男性	60代	東久留米市	自転車走行中は自動車と同じ加害者となりえることを十分に理解する。